評価完了

整理番号 0158

評価年度 令和 6年度

進捗区分 環境部環境政策課 所属 1121

事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業 所属長名 小髙 弥須夫 記入者 髙橋 直輝

TALLILL TAR	↳本情報】

松人計画	00 十油土似入到	五 佐0世中仁共市						
総合計画		画 第2期実行計画	31 4 4 0 1 18	生こナナナ会!!!				
基本方針	332	文化、スポーツを重視	• - • • · · · · · · ·					
基本政策		観を守り育て、自然と	:共生するまちに	します				
施策	015 自然環境の保							
取組の方向性		とする水環境の保全・	再生					
事務事業	001 環境保全市民運動推進事業							
運営方法	直営							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	大津市環境基本条例							
事業概要	配付や情報提供等の活動、地域のヨシ保全事業の支援など、市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援を行う。							
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政 との協働の取り組みが求められている。また、コミュニティの希薄化や高齢化などにより、各種市民活動の参加 者数は減少傾向にある。 (見直しや改善等の経過) 河川愛護事業については令和5年度より登録制に移行し、登録団体への支援体制を強化するとともに、令和6年 度はホタルが生息する環境への取組みとして、守山市ほたるの森資料館館長を講師に招いた研修会を実施した。 また、琵琶湖市民清掃における収集運搬作業の効率化等に伴い、令和6年度より1日開催に変更した。							
【事業分析】								
対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象	まとして						

【争耒分析】	
対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
目的(何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体 結成を促し定期的な河川清掃等の河川愛護活動、及び各地域のヨシ保全団体の活動を支援することで
成果(どのような 状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ(川すじコミュニティ)が形成される

【コスト】 (単位:千円)

	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータルコスト	31, 629	29, 168	29, 466	29, 466	29, 466	29, 466	29, 466
事業費	14, 993	14, 730	16, 666	16, 666	16, 666	16, 666	16, 66
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
県支出金	6, 348	5, 685	6, 663	6, 663	6, 663	6, 663	6, 66
地方債	0	0	0	0	0	0	(
その他	0	0	0	0	0	0	
一般財源	8, 645	9, 045	10, 003	10, 003	10, 003	10, 003	10, 00
人件費計	16, 636	14, 438	12, 800	12, 800	12, 800	12, 800	12, 80
事務・技術(人)	2. 10	1. 81	1. 60	1. 60	1. 60	1. 60	1.6
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
会計年度任用(人)	0. 08	0. 08	0.08	0.08	0.08	0.08	0. 0
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
その他経費	0	0	0	0	0	0	(

整理番号 0158

評価年度 令和 6年度

01058

進捗区分 評価完了

所属 1121

環境部環境政策課 環境保全市民運動推進事業

【関連予算情報】

事務事業番号

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
0	1-20-05-37-21-00-01-00	環境保全市民運動推進費	環境部環境政策課

【定量評価】							上段:目標値	
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)琵琶湖市民清掃 実践本部加入団体数	団体	120. 00	120. 0	0 120.00	120. 00	120. 00	120.00	120. 00
大成本印加八四种数	四本	122. 00	122. 0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)河川清掃実施回		200. 00	200. 0	200.00	200. 00	200.00	200.00	200. 00
数 	回	859. 00	540. 0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)琵琶湖市民清掃 参加人数		72, 000. 00	72, 000. 0	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00
多加入数	× ^	52, 587. 00	25, 939. 0	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川清掃等参加者数			20, 000. 0	20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00
白奴	^	13, 658. 00	11, 632. 0	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】								
評価項目		評価の観点			基準			評価
妥当性		実施主体又は手段は	·妥 A 妥	妥当である				
		当か	В	ぼ妥当である		•		Λ
1			C b	まり妥当ではない	_	$\boldsymbol{\vdash}$		

【定性評価 <u>】</u> 評価項目	評価の観点		基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
	当か	В	ほぼ妥当である	
1		С	あまり妥当ではない	\neg \boldsymbol{A}
		D	妥当ではない	7 \
評価理由	市民・事業者・行政の三	者協働	の観点から有意義である。	
有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
	に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2	ているか	С	あまり上がっていない	
		D	上がっていない	
評価理由	公共地の環境保全が図られ	れてい		
効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
	るか	В	やや効率的である	
3		С	あまり効率的でない	\square
		D	効率的でない	
評価理由	効率的に環境保全が図られ	れてい	る	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
	しているか	В	やや貢献している	
4		С	あまり貢献していない	\square
		D	貢献していない	
評価理由	行政の支援が各団体の活動	動に寄	与している	
評価理由				

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数及び河、各々の参加者数は目標未達となっているれらの要因として、令和6年度においては、するものと考えているが、昨今、これら市齢化など大きく変化してきており、ピーク者と課題を共有しながら、持続可能な市民	。また、河川清掃実施回数は 市民等による環境保全活動が 民の環境保全活動を取り巻く 時の参加者数からは減少する	、前年度からは大幅に減少している。こ が盛んな6、7月の暑さを含む天候に起因 環境は、温暖化や活動に携わる市民の高 状況にある。引き続き、実施主体や関係

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	 市民が主体的に環境保全活動に取り組むこ	レけ 地域環境の保全音識の	醸成のみからず 地域コミュニティのチ
部局コメント (400文字)	性化への貢献も期待できる。一方で担い手琵琶湖市民清掃については、これまでの課組んでいく。	の減少等の課題もあり、持続	可能性を見据えた支援を継続していく。

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1121 環境部環境政策課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 環境保全市民運動推進事業 01058 上段·日標值 下段·軍績値

事務事業番号 01058		保全市民運動推進		A 7- 36-4	A 7- 0	^ - ^ -	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)琵琶湖市民清掃	単位	<u>令和 5年度</u> 120.00	<u>令和 6年度</u> 120.00	<u> </u>	令和 8年度 120.00	令和 9年度 120.00	令和10年度 120.00	<u>令和11年度</u> 120.00
実践本部加入団体数	団体 指標説明	122.00 琵琶湖を美しく	122. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0.00
	1日1本のパック							
(活動)河川清掃実施回 数	回	200. 00 859. 00	200. 00 540. 00	200. 00 0. 00	200. 00 0. 00	200. 00 0. 00	200. 00 0. 00	200. 00 0. 00
	指標説明	各河川愛護団体が	が実施する河川清	掃や川辺の花づ	くり作業実施回数	Ţ	_	
(成果)琵琶湖市民清掃	人	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00	72, 000. 00
参加人数	指標説明	52,587.00 琵琶湖市民清掃	25,939.00 参加人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)河川清掃等参加		20, 000. 00		20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00	20, 000. 00
者数	人	13, 658. 00	11, 632. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	各河川愛護団体が	か実施した清掃だ	「動等に参加した	人数			
						<u></u>	<u>l</u>	
							Ī	
					1			
						T		
						•	•	
						Т		
							L	
	ļ	 	1		1	Т		
		1						
	 	+			<u> </u>	Ī	I	
					T	Ī	T	
				-			<u> </u>	
	<u> </u>	1						
	ļ	 	1			T		
IP27P050				474				

整理番号 0159

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 記 1121 環境部環境政策課

進捗区分 評価完了

所属長名小高弥須夫記入者小野顕大

事務事業番号 01150 環境企画推進事業

_[:	基ス	計	報.	1

所属

【举个用報】								
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	012 再生可能エネル	ギーの活用とごみの)適正処理でクリ	ーンなまちにし				
施策	031 地球温暖化対策	の推進						
取組の方向性	002 再生可能エネル							
事務事業	001 環境企画推進事	001 環境企画推進事業						
運営方法	民間委託							
評価区分	対象	主な取組区分	対象					
根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関	関する法律、大津市	環境基本条例					
	(事業概要) 大津市環境基本計画(第:	3次)に基づき、市	民の省エネルギー	-推進のための各種事	「業や再生可能エネルギー普及			
	の啓発等を実施する。また	の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシ						
事業概要	ステム(環境オームス)に	こより取組を進める	0					
于 未佩女								
	(事業を取りまく社会環境	•						
					おける地域脱炭素の推進が必			
	要不可欠であり、省エネヤ	○地域の再エネを活	用した施策等の加	11速化が求められてい	いる。			
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)							
環境とこれまでの見直し					ことで、効率的・効果的な事			
					LED化計画に基づき、明日			
					「エコ移動」普及のためシェ			
	アサイクル実証事業を実施	もし、自家用自動車	等からの転換に。	よる環境負荷の低減效	1果を検証している。			
【事業分析】								
対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に	5						

	アリイブル美証事業を美心し、日家用日勤単等からの転換による環境員何の個機効果を検証している。
【事業分析】	•
対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	大津市環境基本計画(第3次)に掲げる取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の 支援を行うとともに、市が率先して取組を実施することにより
成果(どのような 状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータ	タルコスト	112, 626	51, 115	358, 586	524, 430	524, 430	716, 330	510, 295
事	業費	73, 140	19, 581	325, 122	490, 966	490, 966	682, 866	476, 831
	国庫支出金	18, 266	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	29, 000	0	277, 200	421, 400	421, 400	594, 100	408, 700
	その他	1, 098	1, 272	31, 566	366	31, 566	31, 566	31, 566
	一般財源	24, 776	18, 309	16, 356	69, 200	38, 000	57, 200	36, 565
人	件費計	39, 486	31, 534	33, 464	33, 464	33, 464	33, 464	33, 464
	事務・技術(人)	4. 40	2. 93	3. 13	3. 13	3. 13	3. 13	3. 13
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 30	0. 60	0. 65	0. 65	0. 65	0. 65	0. 65
	会計年度任用(人)	1. 08	1. 30	1. 32	1. 32	1. 32	1. 32	1. 32
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0159

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1121 環境部環境政策課 事務事業番号 01150 環境企画推進事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
I	01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課
Γ			
Γ	_		

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)省エネルギー等 啓発回数	0	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00
台光回 数	Ш	20. 00	31. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)温室効果ガス削 減量(2013年度比)	0/	46. 00	46. 00	46. 00	46. 00	46. 00	46. 00	46. 00
減重(2013年及比)	%	31. 13	31. 24	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)エコライフデー の参加世帯数(累計)	世帯	10, 000. 00	10, 000. 00	10, 000. 00	10, 000. 00	10, 000. 00	10, 000. 00	10, 000. 00
の参加世帝数(糸訂)	压出	1, 082. 00	2, 291. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 法により地方公共団体の責 されているため 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がって<u>いる</u> に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない С D 上がっていない 評価理由 環境基本計画の目標設定に向けて着実に成果が上がっているため 効率性 事業手法は効率的であ Α 効率的である るか В やや効率的である С あまり効率的でない D 効率的でない 効果も表れているため 評価理由 事業の多くを委託により遂行し 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない C 貢献していない D 継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため 評価理由

【所属評価結果】

総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

広

定量評価のうち、省エネルギー等の啓発については、従来の広報おおつへの掲載に加えてSNS等による周知回数を増加させた。エコライフデー参加世帯数については目標に向け増加傾向であるが、更に市民に興味を持ってもらう工夫を凝らし、効果的な普及啓発に努めていく。また、温室効果ガスの削減目標の達成に向けては、引き続き、国、県の動向を注視しながら、大津市環境基本計画(第3次)に基づき、市有施設の照明設備のLED化や再生可能エネルギーの活用等の取組を市が率先して実行していくとともに、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携した市民・事業者への普及啓発の取組の更なる拡大を図るなど、同計画の目標の達成及び2050年カーボンニュートラルの実現に向け有効な施策を検討し推進していく。

【部局評価結果】

評価理由

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
	「大津市環境基本計画(第3次)」に掲げ	「2050年カーボンニュ	ートラル」の実現を見据えて、引き続き
	地域脱炭素の推進に取り組む。また、市役	:所自らが市有施設の照明設備	のLED化や省エネルギーの推進、再生可
	能エネルギーの活用等を推進するとともに	:、庁内の推進体制の充実と行	政活動におけるグリーントランスフォー
部局コメント	メーションの進展を目指す。		
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1121 環境部環境政策課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

総合計画 03 大洋市総合計画 第2朔美行計画 事務事業番号 01150 環境企画推進事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01150		三四推進事業	A == A == ==	A	_ ^ ~ ^ - _	A = - A = -	上段:日標個	
<u>指標名</u> (活動)省エネルギー等	単位	<u>令和 5年度</u> 15.00	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	令和10年度 15.00	<u>令和11年度</u> 15.00
啓発回数	回 	20.00	31.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	広報紙等による	市民向けの省エネ	、、地球温暖化防	i止等啓発回数			
(成果)温室効果ガス削	%	46.00	46.00	46.00	46. 00	46.00	46. 00	46. 00
減量(2013年度比)	指標説明	31.13 2013年度温室効	31.24 里ガスの排出量を	0.00 に其準とした削減	0.00 割合 (実績値は)	0.00 前々年分の排出量	0.00 赴より算出)。なお	0.00 お R4年度値
	10 12 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13	は新算定方法に	従ったが、今年度	₹は他計画との整	合を図るため、復	従来の算定方法を	採用している。	
(成果)エコライフデー の参加世帯数(累計)	世帯	10, 000. 00 1, 082. 00	10, 000. 00 2, 291. 00	10, 000. 00 0. 00	10, 000. 00 0. 00	10, 000. 00 0. 00	10, 000. 00 0. 00	10, 000. 00 0. 00
	指標説明	令和3年度以前	は平成21年度か	いら令和3年度ま	でのエコライフ	デーの累計参加世	帯数	5. 55
		令和4年度以後	は同年度から令₹ ┃	<u>]12年度までの</u> 	エコライフデー(I	<u>の累計参加世帯数</u> 「	Ī	
					<u>I</u>		<u> </u>	
			Γ	Ţ	1		T	
					<u> </u>			
			<u> </u>		ı		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
		<u> </u>						
					1			
			Г	T	T	T		
			Γ	T	T	T		
							I	
		 			<u> </u>			
		-			<u> </u>			
					<u> </u>			
			<u> </u>		1		<u> </u>	
							I	
		1			<u> </u>			
					ı			
IP27P050	<u> </u>	1		177				

整理番号 0160

令和 6年度 評価年度

評価完了 進捗区分

環境部環境政策課 1121 所属 事務事業番号 01190 環境人育成事業

所属長名 小髙 弥須夫 髙橋 直輝 記入者

【基	ţ	本	t	青報】
	-	_		

【基本情報】	00 + ++ 40 0 =	is Months								
総合計画		十画 第2期実行計画	3」 タノの l ジ生	ミナナナ会口						
基本方針	002 自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り									
基本政策		006 自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします								
施策		016 環境教育の推進								
取組の方向性		001 「環境人」の育成の推進								
事務事業	002 環境人育成	事業								
	その他									
是百万况 評価区分	対象	主な取組区分	対象							
开脚巨力	73	工な私加区刀	71 <i>3</i> 5							
 根拠法令等			1							
以次海中市	(事業概要)	サルルム								
事業概要		を育むことを目的とし ・大津こども環境探偵								
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	動を行う市民の減少等 境に魅力を感じる市民 (見直しや改善等の経)	・保全活動を率先してき ・が新たな課題となりつ ・が多く、今後これら市 過) ■者研修会において、実	つある。一方、最新 民を「環境人」とし	新のアンケート調査 して育成し、課題に	転入者の増加に比し、保全活では、琵琶湖をはじめ自然環 対応していく必要がある。 1をスタートし、令和6年度は					
【事業分析】										
対象(何又は誰を)	自然家族事業は子育で わる方を対象に	親子、こども環境探偵	団事業は小学3年生	主~中学3年生、指	導者研修事業は環境学習に携					
目的(何のために)		の関わりにおいて、市 人」の育成を目的とし		ハ理解と認識を持ち	、各自が環境に配慮した生活					
	i									

【コスト】

※環境人とは、高い環境意識を有し、主体的に環境に配慮した行動を実践する人

「環境人」を育成し、環境問題に関心がある人が多い社会をつくる

L =	」へ	. []							(単位:十円)
			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	-タ	ルコスト	15, 487	15, 050	13, 042	13, 102	13, 102	13, 102	13, 102
	事業	業費	801	612	1, 022	1, 082	1, 082	1, 082	1, 082
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	ſ	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	ſ	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	ſ	その他	500	301	500	500	500	500	500
	ſ	一般財源	301	311	522	582	582	582	582
		牛費計	14, 686	14, 438		12, 020			12, 020
	ſ	事務・技術(人)	1. 85	1. 81	1. 50	1.50	1. 50	1. 50	1. 50
		技能労務(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	0. 08	0. 08	0.08	0.08	0.08	0. 08	0. 08
		嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

成果(どのような 状態にするのか)

整理番号 0160

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1121 環境部環境政策課事務事業番号 01190 環境人育成事業

【関連予算情報】

	予算事業	予算事業番号	予算所属名称
ſ	01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課
ſ			
ſ			

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)自然家族事業 開催回数		8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00
用作四奴	IJ	8. 00	8. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)大津こども環 境探偵団環境学習回数	回数	4. 00	4. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
境休假凹垛境子百凹数	凹奴	3. 00	4. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)自然家族事業 参加者数	1	400.00	400. 00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
参加 有数	^	259. 00	239. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大津こども環 境探偵団卒団生数	1	2, 122. 00	2, 162. 00	2, 202. 00	2, 242. 00	2, 282. 00	2, 322. 00	2, 362. 00
現株限凹竿凹生 数	^	2, 137. 00	2, 188. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00

[正	〖性評価〗				
	評価項目	評価の観点		<u>基準</u>	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	lacksquare
			D	妥当ではない	
i	評価理由	環境教育等促進法に基づる	き当該	事業は妥当である。	
- 1	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
1	評価理由	事業アンケートの結果から	。 。、環:	境に関心を持つために有意義である	
3	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$oldsymbol{A}$
			D	効率的でない	, ,
1	評価理由	関心を持たせられるように	こ、適:	直内容を見直している	
7	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\mathbf{A}
			D	貢献していない	, ,
Ī	評価理由	環境に関心を持ち、また西	記慮し	た行動ができる	
T					
Ī	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価

計画どおり事業を進めることが適当

事業の方向性

現状維持

令和5年度より、指導者研修会において、実際の教育現場(幼稚園)での実践活動をスタートし、令和6年度は
当活動の定着化を図った。環境人を育成する各事業を推進していくため、大津市環境人育成推進懇話会において
、今後も学識経験者等様々な分野の専門家の意見を参考に、刻々と変化する社会状況等に合った適格な事業を展
所属コメント
(400文字)

明する。また、小中学生を対象とした大津こども環境探偵団事業については、指導者が不足傾向にある中、参加
する子どもの低学年化も進んでおり、引き続き同懇話会や事業関係者と課題を共有し、効率的かつ効果的に事業
を推進していく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	本事業が本市の環境保全活動の基盤を支え	てきたことを踏まえつつ、大	津市環境人育成推進懇話会を活用した学
	識経験者等からの意見を積極的に採り入れ	、さらなる事業効果が得られ	るよう、事業内容の改善に取り組んでい
	< ∘		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1121 環境部環境政策課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01190 環境人育成事業 上段:目標値 下段:実績値

(活動) 自然実験事業 日本 (800 年度) 300 年度) 8.00 日本 (800	事務事業番号 01190 指標名	単位	大育成事業 令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	上段: 目標値 令和10年度	ト段: 美領値 令和11年度
報告日本 (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日	(活動)自然家族事業		8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00	8. 00
(清重) 大海上とは著	開催回数			8.00			0. 00	0. 00	0. 00
関係の 1.00		1日1示武功	合年度の日然家		E凹 致、 活期夫稹				
田信説明 6年度の大淳二とも理論保険目型第字哲学集の目数、活動実確数	(活動) 大津こども環	回数	4.00			3.00	3.00	3.00	3.00
参加者数	· 以环境凹垛况于自凹数		各年度の大津こ		0.00 環境学習事業の回	 数、活動実績数	0.00	0.00	0.00
参加者数	(武田) 白然宏华事業		400.00	400.00	400.00	400.00	400 00 1	400.00	400.00
(成果) 大海こども環 大 2.192.00 2.193.00 2.292.00 2.392.00 2.392.00 2.392.00 2.392.00 2.00 2.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00	参加者数		259.00	239.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
「		指標説明	各年度における	自然家族事業の参	参加者数				
接信説中は主張	(成果)大津こども環	1	2, 122. 00	2, 162. 00	2, 202. 00	2, 242. 00	2, 282. 00	2, 322. 00	
	境探偵団卒団生数		2, 137. 00	2, 188. 00	0.00	0.00	0. 00	0. 00	0. 00
		拍標說明	合年度末の大津	ことも塚項採側区	『华団生釵(弗Ⅰ昇	明からの総数)			
						<u>l</u>			
						ı		T	
P27P050									
							I		
P27P050									
P27P050									
P27P050									
P27P050						l l			
P27P050						I I			
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050							I		
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
P27P050						<u>l</u>			
IP27P050						ı	<u> </u>		
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050							<u>'</u>	<u>.</u>	
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050				<u> </u>		<u> </u>			
1P27P050						 		- I	
1P27P050									
1P27P050								•	
IP27P050							I		
1P27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050									
IP27P050			 						
IP27P050									
IP27P050						•		•	
	IP27P050	<u> </u>	1		400				

整理番号 0161

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1703 環境部廃棄物減量推進課 所属 事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

所属長名 古田 幸子 記入者 星田 真文

【基本情報】

【坐作用权】									
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	012 再生可能エネル	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし							
施策	032 循環型社会形成								
取組の方向性	002 適正処理の推進	002 適正処理の推進							
事務事業	004 し尿処理事業推	進事業							
運営方法	民間委託		•	•					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律		<u>.</u>	<u> </u>				
	(事業概要)								
	廃棄物の処理及び清掃に	廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。							
	また、16箇所の公衆便	听を市民等が清潔で	快適に利用できる	よう維持管理に努	めている。				
事業概要									
	(事業を取りまく社会環境	i)							
	し尿・浄化槽汚泥は、下	,	集量が減少し続け	ている。					
	(見直しや改善等の経過)	N.E.O. E.O. I.O. I.O. I.O.	スキャック ひれい						
事業を取りまく社会		業け 一部地域を除	いて許可制として	きたが 安定的し	たし尿収集運搬事業を継続する				
環境とこれまでの見直し	ため、令和4年1月から				こしが人来是淑子不と心がする				
深元ここれよ この元旦し	また、受益者負担の適				を改定した				
	よん、文無石具担の心	正 I C 区 図 の・・/ 、 T	ти / + + л л · b С	小水未连顺丁数件	C 以上 O / L o				

	1111		
1 生	포스	.> t⊪ 1	

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような 状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
<u> </u>	タルコスト	146, 196	144, 537	159, 060	188, 232	188, 232	188, 232	188, 232
=	事業費	130, 008	127, 253	141, 776	170, 948	170, 948	170, 948	170, 948
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	59, 356	57, 113	75, 527	70, 760	70, 760	70, 760	70, 760
	一般財源	70, 652	70, 140	66, 249	100, 188	100, 188	100, 188	100, 188
	人件費計	16, 188	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284	17, 284
	事務・技術(人)	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78	1. 78
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 72	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85	0. 85
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0161

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】					-		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) し尿くみ取り ・浄化槽人口	1	9, 863. 00	9, 398. 00	8, 939. 00	8, 491. 00	8, 056. 00	7, 630. 00	6, 803. 00
77亿佰八日	^	10, 660. 00	10, 414. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)公衆便所年間 清掃回数	回/年	8, 577. 00	8, 551. 00	8, 551. 00	8, 551. 00	8, 577. 00	8, 551. 00	8, 551. 00
月 市 旦 奴	四/牛	8, 600. 00	8, 577. 00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
(成果) し尿・浄化槽 汚泥処理量	kℓ∕∃	29. 00	27. 00	26. 09	24. 75	23. 44	22. 16	20. 91
/5 <i>化处</i> 连里	K¢ / LI	30. 50	30. 30	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果) 公衆便所利用		4, 125. 00	4, 125. 00	4, 125. 00	4, 125. 00	4, 125. 00	4, 125. 00	4, 125. 00
回数	回/日	4, 100. 00	3, 710. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

_[定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	し尿及び浄化槽汚泥の処理	里責任に	ま市にある	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	$\boldsymbol{\vdash}$
				上がっていない	
	評価理由	廃棄物の適正な処理に努め	りるこ	とで生活環境保全につながっている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			D	効率的でない	•
	評価理由	事業に精通した専門業者へ	への委	託事業として実施している	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			D	貢献していない	•
	評価理由	市民の生活環境保全に関連	重が深っ	く、目標達成に貢献している	•
	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
し尿収集運搬事業の委託化により円滑かつ安定的に事業の運営ができている。今後も計画通りに安定した事業
運営を実施していく。
所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】							
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持				
	★ 令和4年1月にし尿処理施設の再編を行	fい、令和7年4月にし尿汲み	取り手数料の改定を行った。				
	今後も、浄化槽の普及など他の取組みとも連携させながら生活環境の保全に努めていく。						
部局コメント							
(400文字)							
(100)(1)							

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1703
 環境部廃棄物減量推進課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

 事務事業番号
 01023
 し尿処理事業推進事業
 上段:目標値 下段:実績値

指標名 (活動) 公衆便所年間 回/年 指標説明 (活動) 公衆便所年間 回/年 指標説明 (成果) し尿・浄化槽 トル	4, 125. 00 4, 100. 00	10, 414. 00 争化槽人口 8, 551. 00 8, 577. 00 所年間清掃回数 27. 00 30. 30 泥施設処理量(志 4, 125. 00 3, 710. 00	4, 125. 00 0. 00	0.00 8,551.00 0.00 24.75 0.00 ・北部衛生プラン	4, 125. 00 0. 00	<u>令和10年度</u> 7, 630. 00 0. 00 8, 551. 00 0. 00 22. 16 0. 00 4, 125. 00 0. 00	<u>令和11年度</u> 6, 803. 00 0. 00 8, 551. 00 0. 00 20. 91 0. 00 4, 125. 00 0. 00
 ・浄化槽人口 「指標説明 (活動) 公衆便所年間 回/年 指標説明 (成果) し尿・浄化槽 (成果) し尿・浄化槽 指標説明 (成果) 公衆便所利用 回グ日 	10,660.00 し尿くみ取り・ 8,577.00 8,600.00 1 6箇所公衆便 29.00 30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	10, 414. 00 争化槽人口 8, 551. 00 8, 577. 00 所年間清掃回数 27. 00 30. 30 泥施設処理量(志 4, 125. 00 3, 710. 00	0.00 8,551.00 0.00 26.09 0.00 3 3 3 4,125.00 0.00	0.00 8,551.00 0.00 24.75 0.00 ・北部衛生プラン 4,125.00 0.00	0.00 8,577.00 0.00 23.44 0.00 ())	0. 00 8, 551. 00 0. 00 22. 16 0. 00	0. 00 8, 551. 00 0. 00 20. 91 0. 00 4, 125. 00
指標説明	し尿くみ取り・ 8,577.00 8,600.00 1 6箇所公衆便 29.00 30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	多化槽人口 8,551.00 8,577.00 所年間清掃回数 27.00 30.30 泥施設処理量(志 4,125.00 3,710.00	8,551.00 0.00 26.09 0.00 変衛生プラント 4,125.00 0.00	8, 551, 00 0, 00 24, 75 0, 00 ・北部衛生プラン 4, 125, 00 0, 00	8, 577. 00 0. 00 23. 44 0. 00 () () () ()	8, 551. 00 0. 00 22. 16 0. 00	8, 551, 00 0, 00 20, 91 0, 00 4, 125, 00
情掃回数 四/ 年 指標説明 (成果) し尿・浄化槽 汚泥処理量 kℓ/日 指標説明 (成果) 公衆便所利用 回数 回/日	8,600.00 16箇所公衆便 29.00 30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	8,577.00 所年間清掃回数 27.00 30.30 泥施設処理量(志 4,125.00 3,710.00	0.00 26.09 0.00 :賀衛生プラント 4,125.00 0.00	0.00 24.75 0.00 ・北部衛生プラン 4,125.00 0.00	23. 44 0. 00 () () () () () () () () () ()	22. 16 0. 00	20. 91 0. 00 4, 125. 00
情掃回数 四ノ 年 指標説明 (成果) し尿・浄化槽 汚泥処理量 kℓ / 日 指標説明 (成果) 公衆便所利用 回数 回/日	8,600.00 16箇所公衆便 29.00 30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	8,577.00 所年間清掃回数 27.00 30.30 泥施設処理量(志 4,125.00 3,710.00	0.00 26.09 0.00 :賀衛生プラント 4,125.00 0.00	0.00 24.75 0.00 ・北部衛生プラン 4,125.00 0.00	23. 44 0. 00 () () () () () () () () () ()	22. 16 0. 00	20. 91 0. 00 4, 125. 00
(成果) し尿・浄化槽 kl / 日 汚泥処理量 指標説明 (成果) 公衆便所利用 回/日	29.00 30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	27.00 30.30 泥施設処理量 (志 4,125.00 3,710.00	0.00 芸賀衛生プラント 4,125.00 0.00	0.00 ・北部衛生プラン 4,125.00 0.00	0.00 (+) 4,125.00 0.00	0. 00 4, 125. 00	0. 00 4, 125. 00
汚泥処理量 指標説明 (成果)公衆便所利用 回数	30.50 し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	30.30 泥施設処理量(志 4,125.00 3,710.00	0.00 芸賀衛生プラント 4,125.00 0.00	0.00 ・北部衛生プラン 4,125.00 0.00	0.00 (+) 4,125.00 0.00	0. 00 4, 125. 00	0. 00 4, 125. 00
(成果)公衆便所利用 回数	し尿・浄化槽汚 4,125.00 4,100.00	泥施設処理量(志 4,125.00 3,710.00	3賀衛生プラント 4, 125. 00 0. 00	・北部衛生プラン 4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00	4, 125. 00
(成果)公衆便所利用 回数 回/日	4, 125. 00 4, 100. 00	4, 125. 00 3, 710. 00	4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00 0. 00	4, 125. 00 0. 00
回数 凹/口	4, 100. 00	3, 710. 00	0.00	0.00	0.00	4, 125, 00	4, 125. 00 0. 00
指標説明	公衆便所利用回	数(年間水道使用	量÷1回あたり	水道使用量平均 6	(2)		
						ı	
					J.		
					T	T	
				•	1		
				1	<u>t</u>	<u>t</u> _	
J		J		Γ	T	Τ	
				<u> </u>			
		Г		Г			
				Ī	T	Τ	
	1						
		-					
	1			<u> </u>			
IP27P050							

整理番号 0162

評価年度 令和 6年度

所属 1703 環境部廃棄物減量推進課

評価完了 所属長名 古田 幸子 進捗区分 白井 智浩 記入者 3 R推進事業

事務事業番号 01153

【基本情報】

_【基本情報】										
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画									
基本方針	003 安心、快適に住み	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネルギ	一の活用とごみの	D適正処理でクリーンな	まちにし						
施策	032 循環型社会形成の	推進								
取組の方向性	001 ごみの減量と再資	源化の推進								
事務事業	001 3 R推進事業									
運営方法	直営									
評価区分	対象	主な取組区分	対象							
根拠法令等	循環型社会形成推進基本法 (事業概要)	廃棄物処理法	大津市補助金等交付規則	則等						
事業概要	市民会議である「ごみ減量る戸及び環境美化センターにお入支援、刈り草剪定枝の堆脈	おける体験教室、	啓発事業の実施、集団	資源回収の促進支援	爰及び生ごみ処理機等の購					
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生 推進基本法や各種リサイク」 (見直しや改善等の経過) 令和3年度から引き続き、デ ルセンター木戸の2拠点で、 から指定管理者制度に移行しため条例の一部を改正した。	ル法等に基づき、 家庭ごみの量は源 3 R推進の啓発に し、管理運営して	3 Rを推進する循環型を シ傾向にある。また、で 取り組んでいる。なお、	社会に転換していく 令和5年度から環均 . リサイクルセンタ	、必要がある。 竟美化センターとリサイク ヌー木戸は、令和5年8月					
【事業分析】										
対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして	<u> </u>								

目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3Rを推進する循環型社会への転換を図るため
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、環境美化センター及びリサイクルセンター 木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆

肥化処理などにより

成果(どのような 状態にするのか) 市内における3R(ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用)を推進する。

[-	スト】							(単位:千円)
<u> </u>	^ F]	△和『左曲	△和 6左 座	△和 7左座	△和 0左座	ᄼᇷᄼᇨᇠ	△和10左曲	
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
 	タルコスト	110, 483	138, 418	172, 138	196, 491	142, 121	142, 121	142, 121
事	業費	74, 066	105, 206	132, 418	152, 917	97, 767	97, 767	97, 767
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	228	251	228	283	283	283	283
	地方債	0	0	30, 300	0	0	0	0
	その他	31, 389	35, 325	33, 090	12, 870	12, 870	12, 870	12, 870
	一般財源	42, 449	69, 630	68, 800	139, 764	84, 614	84, 614	84, 614
人	、件費計	36, 417	33, 212	39, 720	43, 574	44, 354	44, 354	44, 354
	事務・技術(人)	3. 16	2. 54	3. 80	4. 33	4. 43	4. 43	4. 43
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	3. 09	3. 35	2. 52	2. 45	2. 45	2. 45	2. 45
	嘱託 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0162

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課

事務事業番号 01153 3 R推進事業

【関連予算情報】

【判理了异阴報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	3 R推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】							上段:目標値	. 下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)集団資源回収団 体数	団体	660. 00	660. 00	660.00	660.00	660.00	660.00	660. 00
	四体	602. 00	586. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)生ごみ処理機等 補助金申請件数	件	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00
	 	153. 00	145. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ごみ排出量 (燃 やせるごみ)		59, 634. 00	59, 233. 00	58, 977. 00	58, 696. 00	58, 600. 00	58, 600. 00	58, 600. 00
(マセ <i>るこみ)</i>	ı	54, 229. 67	52, 788. 36	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
				妥当ではない	<i>,</i> ,
	評価理由	ごみ減会議等と協働して過	進めてし	いる。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	計画目標を上回る達成率と	となった	t= 。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	
	評価理由	ごみ減会議等と協働して流	進めてい	いる。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	
	評価理由	各種の啓発が、ごみの減量	量に繋7	がっている。	
	評価理由				

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	や啓発が市民のごみ減量の推進に寄与して	こいると考えられる。 引けて、プラスチック資源循環 また、リサイクルセンター木 いく。	

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1703
 環境部廃棄物減量推進課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 01153		」心口可画 第2册 上進事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)集団資源回収団	単位	<u> </u>	<u> </u>	令和 7年度 660.00	<u>令和 8年度</u> 660.00	令和 9年度 660.00	令和10年度 660.00	令和11年度 660.00
(活動)集団貧源回収団 体数	団体	602.00	586. 00	0.00	0.00	660.00 0.00	0.00	0. 00
	指標説明	当該年度後期(7月~12月) 実	ミ施団体数				
(活動)生ごみ処理機等	件	55.00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00	55. 00
補助金申請件数	指標説明	153.00	145.00	0.00	0.00	0. 00	0.00	0. 00
	伯标就明		件数(生ごみ処理					
(成果)ごみ排出量 (燃 やせるごみ)	t	59, 634. 00 54, 229. 67	59, 233. 00 52, 788. 36	58, 977. 00 0. 00	58, 696. 00 0. 00	58, 600. 00 0. 00	58, 600. 00 0. 00	58, 600. 00 0. 00
(E 2 C V)	指標説明	一般廃棄物処理	<u> </u>		家庭系燃やせるこ		0.00	0.00
					<u> </u>	ı		
							I	
					<u> </u>	<u> </u>		
					<u> </u>			
						I		
						ı		
					T			
						I		
							T	
							T	
							Т	
					<u> </u>	ı	Т	
1P27P050		•						

整理番号 0163

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1703 環境部廃棄物減量推進課 所属 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

所属長名 古田 幸子 東 寛之 記入者

【基本情報】

() 人工									
総合計画	7 1	画 第2期実行計画							
基本方針		住み続けることのでき							
基本政策	012 再生可能エネ	ルギーの活用とごみの	D適正処理でクリ	ーンなまちにし					
施策	032 循環型社会形	成の推進							
取組の方向性	001 ごみの減量と	001 ごみの減量と再資源化の推進							
事務事業	002 廃棄物適正処	002 廃棄物適正処理事業							
運営方法	民間委託		•	•	•				
評価区分	対象	主な取組区分	対象						
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例	列・規則		<u> </u>					
	(事業概要)								
	家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排								
		れる一般廃棄物の適正な処理を行う。							
	田 C 10 0	± 0 2 - 11 7 8							
事業概要									
	 (事業を取りまく社会環	倍)							
	() > () () () ()	307	まし 掛げい傾っ	白になった車業玄ゴ	み量についても、令和6年度は				
					巻く法制度が充実・変化してい				
事業を取りませる	減少傾向に転している。	また、ノノヘテッソ	貝伽旭塚灰连広位	よこの焼果物で取り.	色く 法前及が元夫・変化してい				
事業を取りまく社会		\							
環境とこれまでの見直し	(見直しや改善等の経過	•	T加田田##	IT TH 仕出の動 供わり	ナに「イキイヤリ」人和の左告				
					を行ってきており、令和6年度				
		「ノ電池をひんの日に	- 同時収集を開始で	させ、10月より家	庭ごみの土曜収集の廃止を行っ				
The sile as I as T	ている。								
【事業分析】									
11 4 // 11 34 4 1									

【サネカツ/	
対象(何又は誰を)	市民から排出される家庭ごみや事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	市民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	家庭ごみ収集運搬委託及び事業系一般廃棄物収集運搬許可業者による収集運搬を通して、廃棄物の適正処理を図ることにより
成果(どのような 状態にするのか)	市民が快適な生活を送ることができる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	1, 343, 824	1, 324, 857	1, 371, 085	1, 412, 935	1, 400, 985	1, 400, 985	1, 400, 985
事	業費	1, 283, 456	1, 266, 065	1, 318, 293	1, 354, 255	1, 344, 255	1, 344, 255	1, 344, 255
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	61, 921	71, 209	61, 966	61, 246	61, 246	61, 246	61, 246
	一般財源	1, 221, 535	1, 194, 856	1, 256, 327	1, 293, 009	1, 283, 009	1, 283, 009	1, 283, 009
人	、件費計	60, 368	58, 792	52, 792	58, 680	56, 730	56, 730	56, 730
	事務・技術(人)	4. 89	5. 04	4. 64	5. 40	5. 15	5. 15	5. 15
	技能労務 (人)	2. 70	1. 60	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20	1. 20
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	1. 63	2. 35	2. 26	2. 25	2. 25	2. 25	2. 25
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0163

評価年度 令和 6年度 1703 所属

進捗区分 評価完了 環境部廃棄物減量推進課

事務事業番号 01154

廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】	
----------	--

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)定期収集日	B	310. 00	283. 00	257. 00	257. 00	257. 00	257. 00	257. 00
		310.00	283. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
(活動)展開調査	0	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
	Ш	10. 00	8. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)取り漏れ等の 苦情件数	件数	55. 00	30. 00	30.00	30.00	30.00	30.00	30. 00
百月十数	计数	15. 00	29. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業系ごみ量		21, 631. 00	21, 061. 00	20, 403. 00	19, 892. 00	19, 435. 00	18, 871. 00	18, 323. 00
(臨時収集除く)	τ	22, 027. 00	21, 171. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			C	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			Δ	妥当ではない	•
	評価理由	廃棄物処理法において一般		物の処理は市の責務であり妥当。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ		やや上がっている	Λ
2		ているか	C	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			Δ	上がっていない	•
	評価理由	廃棄物が適正に処理され、	市民(の生活環境の保全が図られている。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			C	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			Δ	効率的でない	•
	評価理由	委託等により適正かつ効率	⊠的に↓	収集運搬が実施できている。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	•
	評価理由	家庭ごみの適正な収集運搬	设や事業	業者への指導等が実施できている。	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 引き続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、法に規定する基準に則した処理 及び委託を実施する。事業系ごみについては、令和7年7月からのマニフェスト制度の廃止後の状況を注視しな がら、処理施設での展開調査の実施等により不適正排出の防止を図り、ごみ量の減量に努める。 所属コメント (400文字)

	評		

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	引き続き、家庭ごみの適正処理のため、	分別の徹底を啓発していく。	特に、リチウムイオン電池などの火災の
	危険が伴う廃棄物については、収集及び処	理の段階においての被害が発	生していることから、具体的に分かりや
	すく示していく。		
部局コメント	また、事業者に対しても、事業系ごみの	適正処理及び減量の推進を啓	発していく。
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1703
 環境部廃棄物減量推進課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

心口可凹	05	人并中心百首四 第2期天门首四	
事務事業番号	01154	廃棄物適正処理事業	上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 01154		物適正処理事業						下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度 993 90	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)定期収集日	日	310.00 310.00	283. 00 283. 00	257. 00 0. 00	257. 00 0. 00	257. 00 0. 00	257. 00 0. 00	257. 00 0. 00
	指標説明	定期収集の延日	数	0.00	0.00	0.00	3. 00	0.00
(活動) 展開調査		4.00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
	回 15 1== - V = B	10.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	処理施設での事態 施	業系ごみ収集車両	同に対する展開調	査(美化センタ-	-、北部クリーン	センター)R2カ	いら直営で実
(成果) 取り漏れ等の	件数	55.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
吉情件数	指標説明	15.00 定期収集の収集	29.00 漏れ件数 収集係	0.00 × (業務係) が北	0.00	0.00 - かったため成里	0.00 :指標の内容を変更	0.00
, N	11 12 12 12 13 1							
(成果) 事業系ごみ量 (臨時収集除く)	t	21, 631. 00 22, 027. 00	21, 061. 00 21, 171. 00	20, 403. 00 0. 00	19, 892. 00 0. 00	19, 435. 00 0. 00	18, 871. 00 0. 00	18, 323. 00 0. 00
Charles 2 hazardina	指標説明			回に基づく目標値	(事業系ごみ(国			
		+						
						1		
							•	
		+						
		+						
							<u>.</u>	
		+						
							_	
							<u> </u>	
							T	
							I	
							•	
							ı	
P27P050								

整理番号 0164

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 環境部産業廃棄物対策課 所属 1710 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

所属長名 神山 元伸 新田 紳一朗 記入者

【基本情報】

総合計画							
		03 大津市総合計画 第2期実行計画					
基本方針	003 安心、快適に住	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります					
基本政策	012 再生可能エネル	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし					
施策	032 循環型社会形成	032 循環型社会形成の推進					
取組の方向性	003 不法投棄防止の推進						
事務事業	001 廃棄物不適正処	理対策事業					
運営方法	直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律		•			
	(事業概要)						
事業概要		里の未然防止を図る を行う。			返等の設置、啓発チラシの配布 処理を行っているおそれのある		

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	事業活動又は一般家庭から排出される廃棄物について、
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために、
手段(どのようなやり方で)	廃棄物が適正に処理されるよう監視、啓発を行うとともに、不適切な処理が確認された場合は処理責任者又は行 為者に対し指導を行うことにより、
成果(どのような 状態にするのか)	廃棄物が適正に処理され、生活環境が清潔になることで、生活環境が保全され、公衆衛生が向上する。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	61, 906	54, 002	59, 316	59, 240	59, 240	59, 240	58, 740
事	業費	6, 342	5, 116	7, 316	7, 240	7, 240	7, 240	7, 240
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	1, 850	1, 850	1, 850	1, 850	1, 850	1, 850	1, 850
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	18	0	0	0	0	0	0
	一般財源	4, 474	3, 266	5, 466	5, 390	5, 390	5, 390	5, 390
人	、件費計	55, 564	48, 886	52, 000	52, 000	52, 000	52, 000	51, 500
	事務・技術(人)	3. 70	2. 87	3. 50	3. 50	3. 50	3. 50	3. 50
	技能労務 (人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
	再任用(人)	1. 80	1. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
	会計年度任用(人)	3. 17	3. 60	4. 60	4. 60	4. 60	4. 60	4. 60
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0164

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1710
 環境部産業廃棄物対策課

 事務事業番号
 01173
 廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部産業廃棄物対策課

【定量評価】									上段:目標値	下段:実績
指標名	Ě	单位	令和 5年度	令和 6年	ま 令	介和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
活動)職員によるパト			230. 00		0. 00	230.00	230. 00	230. 00	230. 00	230.
ール実施日数	日		244. 00	233	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
成果) 不法投棄に係る	1		90.00	90). 00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.
ī民要望の解決率	%		95. 99	91	. 75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.
【定性評価】										
評価項目			評価の観点				基準			評価
妥当性	_		施主体又は手段は	妥 A	妥当では					
		当	か	В		当である				Λ
1				С		妥当ではない	1			$\boldsymbol{\vdash}$
				D	妥当で	はない				
評価理由			の所管は市である							
有効性		_	業分析の「成果」		上がっ ⁻					_
			記載の成果は上が			がっている				Λ
2		て	いるか	С		上がっていな	い			
						ていない				
評価理由			速に必要な対応を				いる。			
効率性		_	業手法は効率的で		効率的					_
		る	か	В		率的である				Λ
3				С		効率的でない	1			
				D	効率的					
評価理由			期の発見に努める				ができている			
施策への貢献度			策目標の達成に貢		貢献し					_
		ال	ているか		B やや貢献している					Λ
4				С		貢献していな	にい			
						ていない				
評価理由		廃	棄物の不適正な処	理を減らす	ことで循	環型社会形成	えの推進に貢献			
評価理由										
【所属評価結果】		I=1:	T 18 6. 11 + 46 4 54	7 - 1 183	÷.,,,	1 + alk = + +	- La	70 15 44 14		
合評価		計	画どおり事業を進	めることが	適当	事業の方向	可性	現状維持		
		1.1	L-12 1 - 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1	E410 01 _		7 = 1 !!! = 0		11 - 7 - 2 - 1 - 11 - 11 - 11 - 11 - 11		7 1.1 1.4
		တ	域住民と連携した 警告看板の設置等 図っていく。							
「属コメント (400文字)										
		 	画どおり事業を進	か スニレギ	帝	事業の方向	元性	現状維持		

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	廃棄物の不適正処理を防ぐため、地域住民	· - · - · · · · · · · · · · · · · · · ·	
	るとともに、廃棄物の不適正な管理や処理		
	┃とが重要である。また、啓発チラシや不 適	『正処理防止ポスターの配布を	行うなど、引き続き、市民の意識向上に
部局コメント	努めること。		
(400文字)			

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1710
 環境部産業廃棄物対策課

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 01173		为不適正処理対策					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度 230.00	<u> </u>	令和 7年度 230.00	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 230.00	<u>令和10年度</u> 230.00	<u>令和11年度</u> 230.00
	日	230. 00 244. 00	230. 00 233. 00	230. 00 0. 00	230. 00 0. 00	230. 00 0. 00	230. 00 0. 00	230. 00 0. 00
ロール天旭日奴	指標説明	職員によるパト	<u> </u>	<u> 0.00</u> に日数(土砂不適			0.00	0.00
(成果)不法投棄に係る		90.00				90.00	90. 00	90.00
市民要望の解決率	%	95. 99	91.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	1ヶ月以内に不	法投棄物を回収、	撤去し、原状回	復した件数/電記	舌、メール等で寄	せられた不法投葬	棄に関する苦
		情件数		I				
				1				
			Γ	1			<u> </u>	
				_				
							T	
			<u> </u>	T	<u> </u>			
				1			<u> </u>	
			I	T				
			<u> </u>	1	1 1		1	
				1			1	
			l	ı	1			
		<u> </u>		1			Г	
]	<u> </u>				
				1				
		1	<u> </u>	<u>I</u>	<u> </u>			
			T	ī	1		-	
					<u>-</u>		<u>-</u>	

令和 7年 9月18日

事務事業評価シート(1/2)

整理番号 0165

評価年度 令和 6年度

和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1707 環境部環境施設課 事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業 所属長名 梅野 博英 記入者 和田 圭司

【基本情報】

【本个月刊】					
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画			
基本方針	003 安心、快適に住み	続けることのでき	きる活力のあるま	ちを創ります	
基本政策	012 再生可能エネルギ	一の活用とごみの	D適正処理でクリ	ーンなまちにし	
施策	032 循環型社会形成の	推進			
取組の方向性	002 適正処理の推進				
事務事業	032 環境交流館管理運	営事業			
運営方法	直営		•	•	
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条	列		<u>.</u>	<u> </u>
事業概要	ことを目的とした施設の管		市民意識の高揚る	を図るとともに、地	或コミュニティの活性化を図る
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の減量化と循環型社: る場が求められている。 (見直しや改善等の経過) この施設は、令和7年度を				或のコミュニティの活性化を図されることとなった。

重	坐	厶	뱌	٦	

【争未况例】	
対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果(どのような 状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トーク	タルコスト	10, 370	13, 895	17, 932	74, 769	0	0	0
事	業費	1, 622	2, 189	6, 382	67, 771	0	0	0
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	2, 200	57, 100	0	0	0
	その他	1	4	3	0	0	0	0
	一般財源	1, 621	2, 185	4, 179	10, 671	0	0	0
人	、件費計	8, 748	11, 706	11, 550	6, 998	0	0	0
	事務・技術(人)	0. 26	0. 27	0. 25	0. 81	0.00	0.00	0.00
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	2. 10	2. 40	2. 40	0. 17	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0165

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完

所属 1707 環境部環境施設課 事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

【判理了异阴報】		
予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部環境施設課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)開設日数	B	296. 00	297. 00	300.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
		299. 00	298. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)利用者数		6, 500. 00	6, 500. 00	6, 500. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	^	10, 625. 00	9, 737. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進が図れている 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか あまり上がっていない D 上がっていない 評価理由 地域に認識され、利用者数は目標値を大きく超えている 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか やや効率的である В あまり効率的でない С D 効率的でない 評価理由 効率的な施設管理及び修繕に努めている 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない С D 貢献していない 評価理由 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図る

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 廃棄物の減量化と循環型社会の啓発及び地域コミュニティの場として活発な利用が図られるよう、引き続き館内のポスター掲示やHP掲載等による周知を図っていく。

所属コメント
(400文字)

_【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と 営に努めていることから、来館者数の目標 民センター改築に合わせて機能移転を行う の機関との連携を図るものとする。	値を上回ることができている	。当該施設は、令和7年度をもって、市

評価理由

評価年度 令和 6年度 進捗区分

1707 環境部環境施設課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 環境交流館管理運営事業

評価完了

事務事業番号 01148	環境交	·流館管理運営事業	業				上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)開設日数	単位	令和 5年度 206 00	令和 6年度 207 00	令和 7年度 300 00	令和 8年度 0.00	令和 9年度 0.00	令和10年度 0.00	令和11年度 0.00
	日	令和 5年度 296.00 299.00	<u>令和 6年度</u> 297.00 298.00	<u>令和 7年度</u> 300.00 0.00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0.00	0.00
	指標説明	伊香立環境交流的	館の開設日数					
(成果)利用者数	人	6, 500. 00 10, 625. 00 伊香立環境交流的	6, 500. 00	6, 500. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00	0. 00 0. 00
	指標説明	10,625.00 伊香立環境交流	9,/3/.00 第の年間利用者数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		D = 3004000	1	· 	ı			
				I	I	_		
				I	I			
			1	I	I			
					L		<u> </u>	
				ı	ı			
				l	l			
			1	I	I			
				•	•		•	
			ı	ı	ı	1	ı	
			I	I	I			
				1	1			
			-	•	•			
IP27P050	<u> </u>	1		40E				

令和 7年 9月18日

整理番号 0166

評価年度 令和 6年度

進捗区分 1707 環境部環境施設課 所属長名 梅野 博英 記入者 和田 圭司

所属 事務事業番号 01164

地区環境整備事業 (北部クリーンセンター)

評価完了

【基本情報】
総合計画

【坐件用刊】									
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし								
施策	032 循環型社会形成の推進								
取組の方向性	002 適正処理の推進								
事務事業	011 地区環境整備事業(北部クリーンセンター)								
運営方法	その他								
評価区分	対象 主な取組区分 対象外								
111111111111111111111111111111111111111	133.								
根拠法令等									
事業概要	(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。								
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。								

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	 北部クリーンセンターの円滑な運営のため
日的(何の/こめ)(こ)	北部グリーンセンダーの円滑な連呂のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
世田/じのしこれ	
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。
1人窓にするのが)	

【コスト】

(単位:千円)	•
A 1511 左 広	1

	スト 】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
7	タルコスト	60, 258	55, 063	57, 650	59, 805	59, 805	59, 805	59, 805
III.	事業費	34, 885	30, 259	34, 094	36, 249	36, 249	36, 249	36, 249
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	34, 885	30, 259	34, 094	36, 249	36, 249	36, 249	36, 249
	人件費計	25, 373	24, 804	23, 556	23, 556	23, 556	23, 556	23, 556
	事務・技術(人)	3. 20	3. 18	3. 02	3. 02	3. 02	3. 02	3. 02
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0166

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1707 環境部環境施設課

事務事業番号 01164 地区環境整備事業 (北部クリーンセンター)

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費(北部クリーンセンター)	環境部環境施設課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	40. 00	40. 00	40. 00	40. 00	40.00	40.00	40. 00
	17	43. 00	41. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数		1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
		1. 25	1. 19	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

【定性評価】

評価項目	評価の観点		基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
	当か	В	ほぼ妥当である	
1		С	あまり妥当ではない	$\overline{}$
		D	妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営の	のため、	覚書に基づく事業の実施である	
有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
	に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	^
2	ているか	С	あまり上がっていない	
		D	上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域の	住民から	o理解を得られている	
効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
	るか	В	やや効率的である	
3		С	あまり効率的でない	
		D	効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから	順に事業	(を実施している	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
	しているか	В	やや貢献している	A
4		С	あまり貢献していない	
		D	貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境	境の保全	とと公衆衛生の向上に貢献している	
評価理由				†

|<u>|</u>|評価埋由 【所属評価結果】

【川禹計叫州木】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻	[繁に走行するなど、他の地域	にはない影響があるため、施設周辺地域
	がより住みやすい環境となるよう、市全体	の水準に昭らしつつ。今後も	課題に対する対策を講じていく.
	なお、令和6年度については、補助事業を	(中心に住民両足度を高めつつ	、事業の効率化を図ることかでさた。
所属コメント			
(400文字)			
(+00×+/			

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境	の維持・向上を見据え、補助	制度の活用を中心として、地域住民の満
	足度を高める事業を推進し、地域のさらな	:る理解を得るとともに、市内	全域の廃棄物処理行政の推進を図るもの
	とする。		
部局コメント			
(400文字)			
			·

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1707 環境部環境施設課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 地区環境整備事業 (北部クリーンセンター) 事務事業番号 01164 上段:目標值 下段:実績値

事務事業番号 01164	地区環	環境整備事業(北 i	部クリーンセンタ	z —)			上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)事業補助数	単位	令和 5年度 40.00	<u> </u>	令和 7年度	令和 8年度 40.00	令和 9年度	令和10年度 40.00	令和11年度
(沽動) 事業補助数	件	40. 00 43. 00	40. 00 41. 00	40. 00 0. 00	40. 00 0. 00	40. 00 0. 00	40. 00 0. 00	40. 00 0. 00
	指標説明	年間支出事業補	41.00_ 助件数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(武田) 東要為家ルセ粉				1 1 00	1 00	1 00	1 00 1	1 00
(成果)事業効率化指数	_	1. 00 1. 25	1. 00 1. 19	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00
	指標説明	1事業あたり目	標値÷1事業あた	とり実績値 数値	が大きいほど安値	西に事業が実施で	きたこととなる	
			1	T			г г	
								,
		-						
		1		1				
				T	<u> </u>			
							<u> </u>	
				<u> </u>	<u> </u>			
				Т	<u> </u>			
				•			•	
							1	
				L			L	
				Γ	<u> </u>			
							T	
	<u> </u>	<u> </u>						
				<u>I</u>	<u> </u>		<u> </u>	
		ļ	1	Π	 			
		<u> </u>					l	
		 					ı	
P27P050								

整理番号 0167

評価年度 令和 6年度

進捗区分 1707 環境部環境施設課

所属長名 梅野 博英 和田 圭司 記入者

事務事業番号 01165 地区環境整備事業 (環境美化センター)

評価完了

所属

総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネルギー	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし							
施策	032 循環型社会形成の排	推進							
取組の方向性	002 適正処理の推進								
事務事業	012 地区環境整備事業	(環境美化センタ	—)						
運営方法	直営			-					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関す	る法律 地方自	治法						
事業概要	(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。								
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく 必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすと ともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。								

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

L =	1人ト】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	-タルコスト	46, 906	48, 649	51, 274	53, 675	53, 675	53, 675	53, 675
	事業費	34, 013	36, 247	39, 496	41, 897	41, 897	41, 897	41, 897
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	34, 013	36, 247	39, 496	41, 897	41, 897	41, 897	41, 897
	人件費計	12, 893	12, 402					11, 778
	事務・技術(人)	1. 60	1. 59	1. 51	1. 51	1. 51	1. 51	1. 51
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0167

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価

所属 1707 環境部環境施設課

事務事業番号 01165 地区環境整備事業 (環境美化センター)

【関連予算情報】

2.5-3									
予算事業		•	予算事業番号			•	予	算所属名称	•
01-20-10-20-26-00-04	4-00 地区環	環境整備事業費(環境美化センター	-)		環境部	^ኜ 環境施設課		
【定量評価】							•	上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8:	年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度

【疋重評価】							上段:日標個	ト段: 美領旭
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
	1 	2. 00	7. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)事業効率化指数		1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
	_	0. 99	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	A 妥当である	_
	当か	B ほぼ妥当である	
1		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営の)ため、覚書に基づく事業の実施である	
有効性	事業分析の「成果」欄	A 上がっている	_
	に記載の成果は上がっ	B やや上がっている	
2	ているか	C あまり上がっていない	$\overline{}$
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域の	民から理解を得られている	
効率性	事業手法は効率的であ	A 効率的である	
	るか	B やや効率的である	
3		C あまり効率的でない	A
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから	[に事業を実施している	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	A 貢献している	
	しているか	B やや貢献している	
4		C あまり貢献していない	$\overline{}$
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境	の保全と公衆衛生の向上に貢献している	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻	繁に走行するなど、他の地域	にはない影響があるため、施設周辺地域
	がより住みやすい環境となるよう、市全体	の水準に照らしつつ、今後も	課題に対する対策を講じていく。
	なお、令和6年度については、計画どおり	補助事業が実施されたため、	事業効率化指数は計画値どおりである。
所属コメント			
(400文字)			

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性 	現状維持
	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境 足度を高める事業を推進し、地域のさらな とする。		
部局コメント (400文字)			

令和 6年度 評価年度 進捗区分

1707 環境部環境施設課 所属

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01165 地区環境整備事業 (環境美化センター) 上段:目標値 下段:実績値 元正順平末(環境実化センター) <u>令和 5年度</u> <u>令和 6年度</u> 4.00 4.00 2.00 7.00 <u>令和 7年度</u> 4.00 令和 8年度 4.00 令和 9年度 4.00 令和10年度 4.00 令和11年度 4.00 指標名 (活動)事業補助数 単位 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 年間支出事業補助件数 (成果)事業効率化指数 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 1.00 0.99 1.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 指標説明 1事業あたり目標値:1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる

整理番号 0168

成果(どのような 状態にするのか)

IP27P040

評価年度 令和 6年度 所属

評価完了 進捗区分 1707

環境部環境施設課

所属長名 記入者

梅野 博英 和田 圭司

事務事業番号 01166 地区環境整備事業(北部廃棄物最終処分場)

	地区境境整備事業(北部廃業)	初 最終処分場)								
基本情報】		# 0 HD 1								
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画									
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります									
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし									
施策		032 循環型社会形成の推進								
取組の方向性	002 適正処理の推進									
事務事業	013 地区環境整備事業	013 地区環境整備事業(北部廃棄物最終処分場)								
			_							
				•						
運営方法	その他									
評価区分	対象	主な取組区分	対象外							
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関 (事業概要)	引する法律 地方自	治法							
事業概要	衛生の向上を図るため、北 搬入車両が頻繁に走行する よう、市全体の水準に照ら (事業を取りまく社会環境)	化部廃棄物最終処分 がなど、他の地域に いしつつ、課題に対	場の操業を行って はない影響がある する対策を講じて	いる。施設が立地なっため、施設周辺地域である。	地域の生活環境の保全及び公衆 する地域では、最終処分場への 域がより住みやすい環境となる 					
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	必要がある。 (見直しや改善等の経過)	を備事業の在り方に	ついての見直しを	行い、市の行政活	動に対する説明責任を果たすと					
【事業分析】	_!									
対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として									
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円]滑な運営のため								
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施	することで								
	1									

【コスト】 (単位:千円)

施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

L =	1イト】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	-タルコスト	6, 785	7, 915	7, 564	7, 869	7, 869	7, 869	7, 869
	事業費	4, 266	5, 809	5, 614	5, 919	5, 919	5, 919	5, 919
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	1	1	1	1	1	1
	一般財源	4, 265	5, 808	5, 613	5, 918	5, 918	5, 918	5, 918
	人件費計	2, 519	2, 106	1, 950	1, 950	1, 950	1, 950	1, 950
	事務・技術(人)	0. 27	0. 27	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 04	0.00	0.00			0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0168

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1707 環境部環境施設課

事務事業番号 01166 地区環境整備事業(北部廃棄物最終処分場)

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費(北部廃棄物最終処分場)	環境部環境施設課
【史景証価】		上段·日煙値 下段·宝績値

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
	17	1. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(成果)事業効率化指数		1. 00	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
		0. 64	1. 02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

Į	2性評価】	エグログログ	1	# <i>#</i>	= = = / = =
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	! /\
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由		りため、	<u>、</u> 覚書に基づく事業の実施である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	.
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	1 7 .
	評価理由	事業実施により周辺住民な	いら理解	解が得られている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	1 1
3			С	あまり効率的でない	1 A
			D	効率的でない	1 / `
	評価理由	優先順位の高いものから川			
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	1 /
4			С	あまり貢献していない	1 A
			D	貢献していない	• • •
	評価理由	当該事業は市民の生活環境	意の保1	全と公衆衛生の向上に貢献している	
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
					1
					1
	評価理由	1			
	ロード・エコ	1			I

【所属評価結果】

【川馬計画和木】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、
	施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じて
	lいく。
所属コメント	なお、令和6年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業の効率化を図ることができた。
(400文字)	
ĺ	

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	今後も、ごみ処理施設周辺地域の生活環境	の維持・向上を見据え、補助	制度の活用を中心として、地域住民の満
	足度を高める事業を推進し、地域のさらな	:る理解を得るとともに、市内	全域の廃棄物処理行政の推進を図るもの
	とする。		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1707 環境部環境施設課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 地区環境整備事業(北部廃棄物最終処分場) 01166 上段·日標值 下段·軍績値

事務事業番号 01166	地区環	環境整備事業(北部	部廃棄物最終処分	}場)		A = 0 = +	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)事業補助数	単位	令和 5年度 2.00	令和 6年度 2.00	令和 7年度 2.00	令和 8年度 2.00	<u>令和 9年度</u> 2.00	令和10年度 2.00	令和11年度 2.00
	件	1.00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	年間支出事業補具	助件数					
(成果)事業効率化指数	_	1. 00 0. 64	1. 00 1. 02	1.00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1.00	1.00
	指標説明			0.00 とり実績値 数値	<u> </u>		0.00 きたこととなる	0.00
		7,1103,12,7,11			, , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
					l			
					<u> </u>			
		ļ			-			
							<u>.</u>	
					ı			
					•			
							<u>.</u>	
		<u> </u>						
							L	
		 				1	ı	
		ļ	-		-			
							<u>. </u>	
		+			ı		ı	
		1						
1007000								
IP27P050				$\Gamma \wedge A$				

整理番号 0169

評価年度 令和 6年度 所属

進捗区分 1707 環境部環境施設課 所属長名 梅野 博英 和田 圭司 記入者

事務事業番号 01169 地区環境整備事業 (大田廃棄物最終処分場)

評価完了

【基:	木旭	토井다	
【奉.	4 \ 1E	∃¥IX	

【空个用刊】											
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画										
基本方針	000 0101 0100	こみ続けることのでき									
基本政策	012 再生可能エネル										
施策	032 循環型社会形成	032 循環型社会形成の推進									
取組の方向性	002 適正処理の推進										
事務事業	015 地区環境整備事	015 地区環境整備事業(大田廃棄物最終処分場)									
I											
運営方法	その他										
評価区分	対象	主な取組区分	対象外								
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律 地方自	治法								
事業概要	衛生の向上を図るため、 搬入車両が頻繁に走行す よう、市全体の水準に照	大田廃棄物最終処分 るなど、他の地域に らしつつ、課題に対	場の操業を行っ はない影響があ	ている。施設が立地 るため、施設周辺地	地域の生活環境の保全及び公衆 する地域では、最終処分場への 域がより住みやすい環境となる						
(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく 必要がある。 事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し 平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすと ともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。											
【事業分析】											

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曽東町自治会、小田原町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような 状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

[]	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		41, 457	39, 744	82, 359	43, 274	58, 274	83, 274	43, 274
事	事業費	18, 190	16, 968	60, 753	19, 718	34, 718	59, 718	19, 718
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	18, 190	16, 968	60, 753	19, 718	34, 718	59, 718	19, 718
7	、件費計	23, 267	22, 776	21, 606	23, 556	23, 556	23, 556	23, 556
	事務・技術(人)	2. 93	2. 92	2. 77	3. 02	3. 02	3. 02	3. 02
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0. 05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	その他経費	0	0	0	0	0	0	0
							-	

整理番号 0169

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了

1707 環境部環境施設課 所属

事務事業番号 01169 地区環境整備事業 (大田廃棄物最終処分場)

【関連予算情報】

【関連予算情報】	-		マダ市	** 平 口			~	公司尼 克斯			
予算事業 01-20-10-25-41-00-0	0_00 ##1조3	環境整備事業費()	予算事: 七四 <u></u> 医棄物			理培立	Ţ 『環境施設課	算所属名称			
01-20-10-25-41-00-0	9-00 地区	保児罡脯尹禾 貝()	八口烷米化	取於火	四万场/)				
【定量評価】								上段:目標·	値 下段:実績(
指標名	単位	令和 5年度	令和 64	∓度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度		
活動)事業補助数		13. 00		13.00					0 13. (
	件										
		16. 00		18. 00	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0		
(成果) 事業効率化指数		1. 00		1.00	1.00	1.00	1.00	1.0	0 1. (
	_	1. 34		1. 20	0.00	0.00	0.00	0.0	0.0		
		1.01		1. 20	0.00	0.00	0.00	0.0	0		
				ļ							
【定性評価】			•								
評価項目		評価の観点	_			基準			評価		
妥当性		ミ施主体又は手段は ・4:			当である				A		
1	=	か	E		ぎ妥当である まり妥当ではない	`			Δ		
1				<u>まり安ヨではない</u> 当ではない	`						
	ДГ	1理施設の設置及び			<u>ョではない</u> 書に基づく事業の	の実施である					
有効性		業分析の「成果」			がっている	7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7					
137712	-	記載の成果は上が			や上がっている				Λ		
2	7	こいるか	0	C あまり上がっていない							
D 上がっていない											
評価理由		事業実施により周辺地域住民から理解を得られている									
効率性	-	事業手法は効率的であ A 効率的である							A		
3	6	か	_	B やや効率的である C あまり効率的でない							
3			_	D 効率的でない							
評価理由		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		順に事業を実施している							
施策への貢献度				貢献							
	L	しているか B やや貢献している						Λ			
4			C			\boldsymbol{A}					
== /= == -L	N.	,=++* -	_	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □							
評価理由	=======================================	該事業は市民の生	沽境境の↑	米全と	公衆衛生の同上に	こ頁献している					
				$+\!\!\!-$							
				+							
評価理由			•								
【所属評価結果】					I		I 11 48 11				
8合評価	計	画どおり事業を進	めること	が適当	事業の方向	向性	現状維持				
	+6	iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	さなけ 旦り	A PU 17	担なの拠りままれ	ジム数に土仁士で	ナンじ か のまれます	ニー・ナナン ト・マン 4郎 よう	セフナ め		
		『設用辺地域がより									
		記した。 いく。また、令和6									
「属コメント		らなっている。	一人人	1 - C 16	、 n 回で工円 フ・	C 冊 奶 手 未 が 大 派	3 C 7 6 7 こ 7 こ 6 2 入 一 字 :	未劝于10月数16	可固心のグ		
(400文字)	-										
-											
【部局評価結果】	I=	1= 1:4:11=#4:#	- 4 7 - 1	is strain	1=#64-	4 hu	T				
⁸ 合評価	計	十画どおり事業を進	めること だ	い週当	事業の方向	可性	現状維持				
	Δ	後も、ごみ処理施	部国知州	まの生		カトを目捉っ な		由心として 🚻	域住民の法		
		でなる、この処理派 B度を高める事業を									
		- 及で同のの事来で : する。		J-2007		., 5 01-1	- , , 工- 外 ン 元 木 1勿 :	~	CF 9 0 00		
『局コメント	٦										
(400文字)											

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

1707 環境部環境施設課 所属

総合計画 03

大津市総合計画 第2期実行計画 地区環境整備事業(大田廃棄物最終処分場) 01169 上段·日標值 下段·軍績値

事務事業番号 01169	地区環	環境整備事業 (大日	田廃棄物最終処分	〉場)	A 7- 0	A == 0 == ±	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動)事業補助数	単位	令和 5年度 13.00	<u>令和 6年度</u> 13.00	令和 7年度 13.00	令和 8年度 13.00	<u>令和 9年度</u> 13.00	令和10年度 13.00	令和11年度 13.00
	件	16.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	年間支出事業補						
(成果)事業効率化指数	_	1. 00 1. 34	1. 00 1. 20	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00	1. 00 0. 00
	指標説明				が大きいほど安値	近に事業が実施で で		0.00
							L	
							l I	
		 						
							<u> </u>	
							I	
					Į.		L	
		1						
			<u> </u>	<u> </u>	L		<u> </u>	
				1	ı		ı	
			<u> </u>		ı		Г	
IP27P050		<u> </u>						
11 / /1 /////				F A A				

整理番号 0170

評価年度 令和 6年度

01170

地区環境整備事業(衛生プラント)

 (分 評価完了 所属長名 梅野 博英

 (設課 記入者 和田 圭司

事務事業番号 【基本情報】

成果(どのような

状態にするのか)

所属

【基本情報】										
総合計画	03 大津市総合計画 第2	2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります									
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし									
施策	032 循環型社会形成の推進									
取組の方向性	002 適正処理の推進									
事務事業	016 地区環境整備事業(衛生プラント)									
				ı	1					
	直営			L						
評価区分		主な取組区分	対象外							
		_ 0 1 1 1 1 2 2 7 3								
根拠法令等	 廃棄物の処理及び清掃に関する	法律 地方自	 治法	<u> </u>	L					
KKZ 1 4	(事業概要)		ид							
る。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施 地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。										
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事 ともに、透明性や公平性をより	業の在り方に	ついての見直しを	行い、市の行政活	動に対する説明責任を果たすと					
【事業分析】	!									
対象(何又は誰を)	小松学区自治連合会、田上学区	【自治連合会、	堂町自治会、白百	「合自治会の市民を	対象として					
目的(何のために)	衛生プラントの円滑な運営のた	<u>-</u> め								

【コスト】 (単位・千円)

施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コベト】							(単位:十円)
	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	3, 656	3, 606	3, 450	3, 450	3, 450	3, 450	3, 450
事業費	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500	1, 500
人件費計	2, 156	2, 106	1, 950	1, 950	1, 950	1, 950	1, 950
事務・技術(人)	0. 26	0. 27	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
会計年度任用(人)	0. 04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0170

評価年度 令和 6年度

令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1707 環境部環境施設課

事務事業番号 01170 地区環境整備事業(衛生プラント)

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費(衛生プラント)	環境部環境施設課

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)事業補助数	件	1. 00	1. 00	1.00	1. 00	1.00	1. 00	1.00
	17	1. 00	1.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数		1. 00	1. 00	1.00	1. 00	1. 00	1.00	1.00
		1.00	1. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
ᄼᆖᄮᇎᄺᇻ								

	定性評価】	-			
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	1 / 1
1			С	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	7
	評価理由	処理施設の設置及び運営の	りため、	、覚書に基づく事業の実施である	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	. /
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業実施により周辺地域位	主民かり	ら理解を得られている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	.
3			С	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	優先順位の高いものから	順に事業	業を実施している	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	. /
4			С	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業は市民の生活環境	竟の保ま	全と公衆衛生の向上に貢献している	
I	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持

し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和3年度末で操業を終了している。それに伴い補助
事業についても令和3年度末をもって終了しており、現在、当該施設の跡地利用について地元と協議を進めてい
る。また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加に伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、令和4年度から地
区環境整備事業を実施している。
(400文字) なお、令和6年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
	し尿処理施設の集約化を目的に、南部衛生プラントは令和3年度に操業を終了し、これに伴う関連事業も終えた
	ところであり、現在プラント施設を解体除却した後の有益な利活用について地域と協議を進めている。
	また志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対しては、し尿処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を見据
如日っょう。」	
部局コメント	え、振興補助を通じて、地域住民の満足度を高める取組を支援し、地域のさらなる理解を得るとともに、市内全
(400文字)	域のし尿処理行政の推進を図るものとする。

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1707 環境部環境施設課

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 東双東#番目 01170 地区環境軟件車業 (条件プラント

総合計画 03 事務事業番号 01170	地区環	可総合計画 第24 景境整備事業(衛	生プラント)				上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) 事業補助数	単位	<u> </u>	令和 6年度	令和 7年度 1.00	<u> </u>	<u> </u>	令和10年度 1.00	令和11年度 1.00
(191) 尹未ભ以奴	件 指標説明	1.00 1.00 1.00 年間支出事業補	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数		1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	—————————————————————————————————————	1.00	1.00	1.00 0.00 つり実績値 数値	0.00 iが大きいほど安f	0.00	0.00	0. 00
		7 7 7 7 7 7						
			Ī	Ī				
			<u> </u>	Ι				
			1	<u> </u>			Г	
				<u> </u>				
			1					
			Ī	T	T		Г	
			1	ı	<u> </u>		<u> </u>	
			1	ı	1		 	
			1	T	T			
			1	ı	ı		г т	
			ī	1	•			
			1	7	T			
							<u>. </u>	
	1	I						

整理番号 0171

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1702 環境部環境美化センター 所属 事務事業番号 01175 環境美化センター管理運営事業 所属長名 原田 浩二 記入者 田中 瑛司

【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合計画								
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし								
施策	032 循環型社会形成の推進								
取組の方向性	002 適正処理の推進								
事務事業	017 環境美化センター	-管理運営事業							
			+						
運営方法	民間委託		1	<u> </u>					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
In the class to the			No. 187 Life de Du	III m . I					
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関	する法律、ダイオ	キシン類対策特別	措直法					
事業概要	(事業概要) 20年間に及ぶ運営委託契約を踏まえ、特別目的会社による環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が適切に発揮され、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督								
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	おり、その重要性は大きい (これまでの見直し)	と直結しているた。 並行して、ごみ 達し、民間事業者	の分別・減量を推	進することが社会	fする方式) で整備を進めてきた				
【事業分析】									
対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせ	るごみ、大型ごみ	ほか及び事業系一	般廃棄物の燃やせ	tるごみ、大型ごみを				
目的(何のために)	大津市環境美化センターに	搬入されるごみの	適正かつ円滑な処	理及び資源化を実	思現するため				
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施	設の適正な運転で	、規制基準や協定	値を遵守し					
成果(どのような	安全かつ安定した運転操業	を実施し、大津市	南部区域から発生	する一般廃棄物 <i>の</i>)適正な処理を図る				

【コスト】 (単位:千円)

L –	1 人 ト 】							(単位:十円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	-タルコスト	357, 954	365, 691	416, 516	415, 158	415, 158	415, 938	415, 938
[事業費	337, 774	351, 971	399, 286	397, 928	397, 928	397, 928	397, 928
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	289, 408	277, 062	294, 941	277, 062	277, 062	277, 062	277, 062
	一般財源	48, 366	74, 909	104, 345	120, 866	120, 866	120, 866	120, 866
	人件費計	20, 180	13, 720	17, 230	17, 230			18, 010
	事務・技術(人)	2. 30	1. 40	1. 85	1.85	1. 85	1. 95	1. 95
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0. 70	0. 70	0. 70	0. 70	0. 70	0. 70	0. 70
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

状態にするのか)

整理番号 0171

評価年度 令和 6年度 1702

進捗区分 評価完了 環境部環境美化センター

所属 事務事業番号 01175 環境美化センター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	環境美化センター管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 月次モニタリン グ会議実施回数		12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
	ш	12. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)焼却施設実稼働 率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
*	%0	100. 34	100. 35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ごみ発電による 電力使用率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
电刀使用学 %	96. 99	96. 44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
(成果)資源ごみの処分 率	0/	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
 *	%	100. 98	102. 15	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00

評価項目	評価の観点	基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	A 妥当である	_
	当か	B ほぼ妥当である	
1		C あまり妥当ではない	$\overline{}$
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法においてー	般廃棄物の処理が市町村の責務である。	
有効性	事業分析の「成果」欄	A 上がっている	_
	に記載の成果は上がっ	B やや上がっている	
2	ているか	C あまり上がっていない	$\overline{}$
		D 上がっていない	, ,
評価理由	計画どおり適正に安定し	てゴミ処理及び再資源化を図っている。	
効率性	事業手法は効率的であ	A 効率的である	_
	るか	B やや効率的である	
3		C あまり効率的でない	$\overline{}$
		D 効率的でない	
評価理由	特別目的会社の管理運営	により効率よく安定した操業ができた。	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	A 貢献している	_
	しているか	B やや貢献している	
4		C あまり貢献していない	A
		D 貢献していない	
評価理由	円滑なゴミ処理を継続す	ることで、ごみの適正処理に貢献した。	
評価理由		•	

評価理由 【所属評価結果】

【川周叶叫州木】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント	環境美化センターは、市民生活の維持にため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し別目的会社に対する適正な運営管理上の指状況を確認するため、市職員による定期及の安全かつ安定した操業を図ることができ	、一般廃棄物の適正かつ円滑 指導監督をこれまでどおり行っ なび随時のモニタリングを適切	な処理並びに資源化が図られるよう、特 ていく。令和6年度は、運営業務の履行

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	市民生活に欠かせない施設であり、常に してきたが、ごみ焼却時に発生する熱を利 うに1年間の業務成果としては適正であっ	用し計画的な発電による場内・	
部局コメント (400文字)	今後も、運営業務の履行状況を評価する 指導を運営事業者に行うほか、啓発施設の の減量や資源再利用意識の普及啓発を推進	ためにモニタリングを実施し 活用と施設見学者への対応を	

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1702 環境部環境美化センター 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画 事務事業番号 01175 環境美化センター管理運営事業

事務事業番号 01175	環境美	美化センター管理:						下段:実績値
指標名 (活動) 月次モニタリン	単位	<u>令和 5年度</u> 12.00	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u>令和 9年度</u> 12.00	令和10年度 12.00	令和11年度 12.00
グ会議実施回数	回	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	令和3年度稼働	焼却施設並びに4 民間事業者による	6和2年度稼働リ <u>5管理運営となっ</u>	サイクル施設にな	おける月次モニタ 見直しを図った	リング会議の実施	布※令和3年
(活動) 焼却施設実稼働	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
率	指標説明	100.34	100.35 実績日数/2炉 ^全			0.00 令和3年度稼働し	0.00 ルた新焼却施設対象	0.00 東※令和3年
(成果)ごみ発電による		度より本格的に	民間事業者による 100.00	6管理運営となっ 100.00	たため、指標の 100.00	<u>見直しを図った。</u> 100.00	100.00	100.00
電力使用率	%	100.00 96.99	96.44	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明			用日数/暦日数〕 管理運営となった			新焼却施設対象	※令和3年度
(成果)資源ごみの処分	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
率	指標説明	100.98	102.15 量/資源ごみ搬え			0.00 ペットボトル ※	0.00 (令和3年度より2	0.00 k格的に民間
(成果)排ガス中のダイ		事業者による管	理運営となった1	入量〕×100 ≤め、指標の見直 ┃ 100.00	しを図った。	100.00	100.00	100.00
オキシン類濃度基準値	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
遵守率	指標説明	排ガス1ノルマ ※令和3年度よ		ダイオキシン類(単位10億分の	1 g)量、基準値	i=5 n g//ルマ	マルリューベ
(成果)固化飛灰のダイ	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
オキシン類濃度基準値 遵守率	指標説明	100.00		┃ <u> </u>		0.00 目な1.)※令和3	0.00 L 年度より適用	0. 00
~ 1 1	11 18 18 18 19 19 1	Next g 1 07 7	17 () D XX () E	E、	6/6 (巨汉远/	11.4 C) X 1141 C	一大なり返加	
			1	1	r		· · ·	
				_				
			I	I			I	
					Ī			
			•	•	•		•	
			I	I			I	
					I			
				_				
			1	1				
			ı	ī	T		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
					l			
			ı	1			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
							I	
							1	
10070050								

整理番号 0172

所属

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1702

環境部環境美化センター

所属長名 原田 浩二 林 豊治 記入者

事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

尹扬尹未留与 01170	个然初处力争未 用的个然初处力地自在争未
【基本情報】	
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし
施策	032 循環型社会形成の推進
取組の方向性	002 適正処理の推進
事務事業	018 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業
運営方法	直営
評価区分	対象 主な取組区分 対象外
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法、水質汚濁防止法
事業概要	(事業概要) 南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 (これまでの見直し) 浸出水処理施設の整備補修を適宜行い、維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水(汚水)を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような 状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

コス	()							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
ータ	リルコスト	18, 671	16, 965	17, 005	17, 003	17, 003	17, 003	17, 00
事:	業費	12, 601	11, 295	10, 945	10, 943	10, 943	10, 943	10, 94
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	(
	その他	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	12, 601	11, 295	10, 945	10, 943	10, 943	10, 943	10, 94
人	件費計	6, 070	5, 670	6, 060	6, 060	6, 060	6, 060	6, 06
	事務・技術(人)	0. 55	0. 55	0. 60	0. 60	0. 60	0. 60	0. 6
	技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	再任用(人)	0. 20	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 1
	会計年度任用(人)	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 20	0. 2
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	臨時(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 0
そ	の他経費	0	0	0	0	0	0	

整理番号 0172

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1702 環境部環境美化センター

事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数		4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
	Ш	4. 00	4. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)発生ガス検査回	П	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00	3. 00
数	回	3. 00	3. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)水質基準値遵守	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
率(COD・南部)	90	100.00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
率(COD・第二南部)	70	100. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7							•	

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	•
	評価理由	廃棄物処理法において一般	投廃棄物	勿の処理が市町村の責務である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
				上がっていない	<i>,</i> .
	評価理由	放流水(処理水)の排出基	基準を決	満足している。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	
	評価理由	施設の運転管理は安定した	た操業が	ができた。	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	•
	評価理由	効率的に安定処理の向上な	が図れて	ている。	
					_
	評価理由				<u> </u>

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 放流水及び浸出水の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準 に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適切な維持管理に努める。

所属コメント
(400文字)

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	南部不燃物処分地におけるガス発生状況、 な維持管理を続ける。	水質の変化(推移)を把握し	. ながら、施設の廃止を見据えて、適切

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1702環境部環境美化センター総合計画03大津市総合計画第2期実行計画

事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業 上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	回	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00	4. 00
	指標説明	4.00 浸出水及び処理:	4.00 水中のCOD、窒	0.00 B素等の年間測定	0.00	0.00	0.00	0. 00
(活動)発生ガス検査回		3.00	3.00	3.00	3.00	3. 00	3. 00	3. 00
(石朝) 光エカス検査回 数	回	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	指標説明	発生ガスの量、	質の年間測定回数	₹				
(成果)水質基準値遵守 率 (COD・南部)	%	100.00 100.00	100. 00 100. 00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
学(000・用品)	指標説明	処理水中のCO	D基準値=20m	n g / I	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
率(COD・第二南部	% +=.+===	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
)	指標説明	処埋水中のCO	D基準値=20n	ng/l				
							<u> </u>	
							<u> </u>	
							•	
							I	
					1			
	-	+						
					<u> </u>		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
					<u> </u>		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	
		<u> </u>					l	
ID03D056								
IP27P050								

整理番号 0173

評価年度 令和 6年度

令和 6年度進捗区分評価完了1702環境部環境美化センター01177大田廃棄物最終処分場管理事業

所属長名原田 浩二記入者林 豊治

事務事業番号 【基本情報】

成果(どのような

状態にするのか)

所属

【基本情報】									
総合計画		計画 第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし								
施策	032 循環型社会用	032 循環型社会形成の推進							
取組の方向性	002 適正処理の推進								
事務事業	019 大田廃棄物量	晨終処分場管理事業							
		1							
運営方法	直営								
建岛万丛 評価区分		主な取組区分	対象外						
計画区力		エな収価区力	対象が						
根拠法令等		リー明士では分 ガノナ	<u>I</u> キシン類対策特別措置法	少质江黑叶山土					
以贬丛 T 寺	(事業概要)	に関する広体、ブイカ	インク規列東特別拍直ム	、小貝///闽阴正丛					
	(車業を取りまく社会	では							
	(事業を取りまく社会	:環境)							
	埋立搬入物や処理水の)水質などは、法律及び	地元との協定を遵守し適	正処理を行ってい	る。また、定期的に地元				
	に対して搬入状況及び	が質関係等結果の報告	を行っている。						
事業を取りまく社会	(これまでの見直し)								
環境とこれまでの見直し	埋立物に起因する浸出 生物処理槽の安定化を			ての工程を稼働さ					
			過止を注を行うている。		せ、適切な薬剤の添加や				
【事業分析】			適正が注で1] りている。		せ、適切な薬剤の添加や				
【事業分析】 対象(何又は誰を)	焼却灰、破砕不燃物及		いごみを受け入れ、埋立	処分場から発生す					
対象(何又は誰を)		び持ち込みの燃やせな	いごみを受け入れ、埋立						
		び持ち込みの燃やせな							

(*# TD)

①衛生的で安全な埋立処分②放流水(処理水)の水質基準値の遵守を図る

	スト】							(単位:千円)
		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トー	タルコスト	82, 971	83, 475	98, 418	95, 206	95, 206	95, 596	95, 596
事	業費	68, 691	69, 215	82, 598	79, 386	79, 386	79, 386	79, 386
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	207	244	290	290	290	290	290
	一般財源	68, 484	68, 971	82, 308	79, 096	79, 096	79, 096	79, 096
7	、件費計	14, 280	14, 260	15, 820	15, 820	15, 820	16, 210	16, 210
	事務・技術(人)	1. 00	0. 90	1. 10	1. 10	1. 10	1. 15	1. 15
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0. 80
	会計年度任用(人)	0. 60	0. 65	0. 65	0. 65	0. 65	0. 65	0. 65
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
7	の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0173

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	П	12. 00	12. 00	12.00	12. 00	12. 00	12.00	12. 00
	回	12. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
(成果)水質基準値遵守 率(COD)	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
本 (COD)	90	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】 評価項目 評価の観点 基準 評価 妥当性 実施主体又は手段は妥 妥当である ほぼ妥当である 当か В あまり妥当ではない 妥当ではない D 評価理由 廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。 有効性 事業分析の「成果」欄 上がっている やや上がっている に記載の成果は上がっ В ているか С あまり上がっていない D 上がっていない 評価理由 適正に埋立処分し、排水 (放流水) は環境保全協定値を満足する。 効率性 事業手法は効率的であ 効率的である Α るか やや効率的である В あまり効率的でない С D 効率的でない 評価理由 民間事業者の運転管理により効率よく安定した操業ができた。 施策への貢献度 施策目標の達成に貢献 貢献している Α しているか В やや貢献している あまり貢献していない С D 貢献していない 評価理由 効率的に安定処理の向上が図れている。 評価理由

【部局評価結果】							
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持				
	!						
	最終処分場の構造基準、維持管理基準に	[従い、適正な運営管理を続け	るとともに、浸出水の水質(推移)を把				
	握しながら、必要に応じて、課題の把握と有効な対策について協議を行うものとする。						
部局コメント							
(400文字)							

 評価年度
 令和 6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1702
 環境部環境美化センター

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

 ま変ま業番号
 01173
 大果市総合計画
 第2期実行計画

事務事業番号 01177 ### 8	人山	廃棄物最終処分場。	官理争表	A10 7/- ÷	A10 0 F ==	A10 0/- #	上段:目標値	下段:実績
指標名 活動)水質検査回数	単位	<u>令和 5年度</u> 12.00	令和 6年度 12.00	令和 7年度 12.00	<u>令和 8年度</u> 12.00	<u>令和 9年度</u> 12.00	令和10年度 12.00	令和11年度 12.0
13)/小克(人丘口女	回	12. 00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.0
	指標説明	浸出水及び処理	水中のCOD、3	窒素等の年間測定	回数			
成果)水質基準値遵守	0.4	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.0
(COD)	%	100.00	100.00 100.00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 0
	指標説明	処理水中のCO	D基準値=20r	ng/l				
				<u> </u>				
				•	1	1		
							<u> </u>	
			1	_				
			•					
			ı	1				
		+						
			l					
			ı		1		1	
			I.					
			<u> </u>	Į.	<u> </u>			
			ı	1				
		1						
		1	<u> </u>	<u> </u>				
		<u> </u>						
			<u> </u>	<u> </u>				
	1	ī	Ī		ī			

整理番号 0174

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1702 環境部環境美化センター 所属 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業 所属長名 原田 浩二 記入者 浜崎 亨

【基本情報】

【基本情報】									
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画							
基本方針	003 安心、快適に住	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります							
基本政策	012 再生可能エネル	012 再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし							
施策	032 循環型社会形成	032 循環型社会形成の推進							
取組の方向性	002 適正処理の推進	002 適正処理の推進							
事務事業	025 中町淀町最終処	025 中町淀町最終処分場管理運営事業							
運営方法	直営			•	•				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外						
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	関する法律、ダイオ	キシン類対策特別	措置法、水質汚濁	<u>,</u> 方止法				
	(事業概要)								
	大石中町廃棄物最終処分	大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。							
	また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の生活環境の保全に努める。								
± ** 101 ±									
事業概要									
-	(事業を取りまく社会環	境)							
	大石中町廃棄物最終処分	 場は平成10年度末	、大石淀町廃棄物	動最終処分場は平成:	2.5年度末をもって埋立処分か	5 %			
	終了し、現在、各施設に	終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用と							
事業を取りまく社会	して大津大石淀グラウン								
環境とこれまでの見直し	(これまでの見直し)			•					
		場については、処理	施設に流入する湯	見出水の水質が改善 る	され良好な状態となっているこ	_			
	とから、令和7年度に廃								
【事業分析】									

【书未刀勿】

【サネカツ】	
対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような 状態にするのか)	放流水(処理水)の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
 -	-タルコスト	56, 749	62, 711	67, 189	68, 518	68, 518	68, 908	68, 908
	事業費	52, 273	57, 231	60, 929	62, 258	62, 258	62, 258	62, 258
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	52, 273	57, 231	60, 929	62, 258	62, 258	62, 258	62, 258
l [人件費計	4, 476	5, 480	6, 260	6, 260	6, 260	6, 650	6, 650
	事務・技術(人)	0. 50	0. 50	0. 60	0. 60	0. 60	0. 65	0. 65
	技能労務(人)	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
	会計年度任用(人)	0. 18	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25	0. 25
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0174

令和 6年度進捗区分評価完了1702環境部環境美化センター

事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】	-				-		上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数		12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12.00	12. 00
	ш	12. 00	12. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果) COD、窒素等 の水質基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
	90	100. 00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)排水中のダイオ キシン類濃度基準値遵	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100. 00
守率	70	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
F-14-77 (**)								

【定性評価】 評価項目	評価の観点	1	基準	評価
妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	計順
女当住	美胞主体人は子段は安			
1	= "\"	В	ほぼ妥当である	\longrightarrow Δ
1		C	あまり妥当ではない	
部 / 田 中		D m.osæ	妥当ではない 物の四四は古野社の表発です。	
評価理由		1	物の処理は市町村の責務である。	
有効性	事業分析の「成果」欄	<u>A</u>	上がっている	
	に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	─
2	ているか	С	あまり上がっていない	
		D	上がっていない	
評価理由	処理水の水質が環境保全性	協定値		
効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	
	るか	В	やや効率的である	
3		С	あまり効率的でない	
		D	効率的でない	
評価理由	運転管理業務を民間委託	するこ	とにより効率的に操業できた。	
施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
	しているか	В	やや貢献している	
4		С	あまり貢献していない	
		D	貢献していない	
評価理由	安定した水処理施設の運	転によ	り周辺の環境美化に貢献できた。	
		T T		
評価理由				

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	いずれの施設も浸出水処理施設を適正に		
	た。中町最終処分場の浸出水は、既に施設	:の廃止基準を下回る水準にあ	り、今年度施設の廃止の手続きを行う。
	廃止が確認されたのち、浸出水処理施設の	解体撤去工事を進めていく。	
部局コメント			
(400文字)			

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1702環境部環境美化センター総合計画03大津市総合計画第2期実行計画

総合計画 03 事務事業番号 02217	大津市	F総合計画 第2期 定町最終処分場管∶	引実行計画 理運堂事業				上段·日樗值	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	<u> </u>	<u> </u>	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)水質検査回数	回 	12. 00 12. 00	12. 00	0.00	12.00 0.00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00
	指標説明		水のCOD、窒素					
(成果) C O D 、窒素等 の水質基準値遵守率	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
	指標説明	処理水中のCO	Dの基準値20n	ng/リットル	窒素の基準値 1	Omg/リットル	,	
(成果)排水中のダイオ キシン類濃度基準値遵	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
守率	指標説明	処理水のダイオ	キシン類の量、基	<u>0.00</u> 基準値10pg-		し.00	0.00	0.00
				<u> </u>	1			
			T	T	ı			
				•	•			
				<u> </u>	<u> </u>			
				l	1			
			T	T	1			
							ı	
					1			
			T	1	1			
			-	-	•		•	
			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
Ì		I						

整理番号 0175

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1708 環境部北部クリーンセンター 所属 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業 所属長名 北﨑 祐慈 中野 高佳 記入者

【基本情報】

【坐作IFIX】								
総合計画	03 大津市総合計画	第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に住る	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本政策	012 再生可能エネル:	ギーの活用とごみの	O適正処理でクリーンなる	まちにし				
施策	032 循環型社会形成	の推進						
取組の方向性	002 適正処理の推進							
事務事業	021 北部クリーンセ	ンター管理運営事業	=					
運営方法	その他			•	•			
評価区分	対象	主な取組区分	対象外					
根拠法令等	廃掃法、容り法、ダイオキ	トシン類特措法、プ	ラスチック資源循環促進	法				
事業概要	(事業概要) 琵琶湖疏水以北で発生する 津市北部クリーンセンター 時モニタリング等の適正な ク製容器包装類の受入を行	-焼却施設・リサイ ↓運営管理上の指導	クル施設に対して、それ 監督を行うとともに、大	らの履行状況を確	認するため、定期及び随			
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境でよりでは大きい。並行して、このでは大きい。並行して、このでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	で直結しており、市でからでは、 でかの分別・減量を であるができます。 では、 できまでは、 できまでは、 できまでは、 できます。 できます。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できまする。 できままする。 できままする。 できまままままままままままま。 できまままままままままままままままままままま	推進することが社会的に 設は、ごみ焼却時に発生	求められている。	発電を行い、これを売却			
【事業分析】								
対象(何又け誰を)	家庭から排出される一般図	変棄物及び重業系―	処函棄物を					

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	家庭から排出される一般廃棄物及び事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設、リサイクル施設及びプラスチック容器資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し、
成果(どのような 状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、琵琶湖疏水以北で発生する一般廃棄物の適正な処理を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	-タルコスト	511, 607	544, 865	559, 465	598, 526	597, 617	603, 415	603, 501
	事業費	497, 957	527, 341	544, 623	583, 684	582, 775	588, 573	588, 659
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	167, 966	238, 079	256, 574	220, 272	217, 272	217, 272	217, 272
	一般財源	329, 991	289, 262	288, 049	363, 412	365, 503	371, 301	371, 387
	人件費計	13, 650	17, 524	14, 842	14, 842	14, 842	14, 842	14, 842
	事務・技術(人)	1. 75	1. 60	1. 39	1. 39	1. 39	1. 39	1. 39
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用(人)	0.00	0. 58		0.00	0.00	0.00	0.00
	会計年度任用(人)	0.00	0. 42	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0175

評価年度令和 6年度所属1708

令和 6年度進捗区分評価完了1708環境部北部クリーンセンター01180北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

事務事業番号

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	0	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
フグ 云 議 天 旭 回 奴	쁘	12. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)焼却施設実稼 働率	%	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
到 午	70	97. 06	97. 91	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 排ガス中の ダイオキシン類濃度基	%	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
準値遵守率	70	100.00	100. 00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 飛灰処理物の ダイオキシン類濃度基	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
ダイオイクン 類 振 及 基 準 値 遵 守 率	70	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
【定性評価】							•	

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	•
	評価理由	廃棄物関連の法律を遵守し	J. —f	般廃棄物を適正に処理できている	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	計画通りごみ処理し、排力	げス等の	の規制基準はすべて遵守できている	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	<i>,</i> ,
	評価理由	施設の運営は技術力がある	5民間	業者へ委託し効率化が図れている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	A
				貢献していない	<i>,</i> ,
	評価理由	ごみの適正処理で循環型社	1会の	・ 形成に寄与している	
1	評価理由				

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持

北部クリーンセンターは、市民生活の維持に必要不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和6年度は、運営業務の履所属コメント
(400文字) 行状況を確認するため、市職員による定期及び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設及びリサイクル施設の安全かつ安定した操業を図ることができた。

【部局評価結果】	
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
10 11 11	
	市民生活に欠かせない施設であり、常に自ら設定した基準を遵守しつつ適正に操業することを基本的な目標とし
	てきたが、ごみ焼却時に発生する熱を利用し計画的な発電による場内使用率並びに実稼働率からも明らかなよう
	に1年間の業務成果としては適正であったと評価している。
部局コメント	今後も、運営業務の履行状況を評価するためにモニタリングを実施し、適正な運営管理上の必要な執行管理・指
(400文字)	導を運営事業者に行うほか、啓発施設の活用と施設見学者への対応を通じて、処理施設だからこそ担えるごみの
	減量や資源再利用意識の普及啓発を推進する。

 評価年度
 令和6年度
 進捗区分
 評価完了

 所属
 1708
 環境部北部クリーンセンター

 総合計画
 03
 大津市総合計画
 第2期実行計画

 事務事業番号
 01180
 北部クリーンセンター管理運営事

事務事業番号 01180		フリーンセンター					上段:目標値	下段:実績値
<u>指標名</u> (活動)月次モニタリ	単位	令和 5年度 12.00	<u> </u>	令和 7年度 12.00	令和 8年度 12.00	<u>令和 9年度</u> 12.00	令和10年度 12.00	令和11年度 12.00
ング会議実施回数	回 指標説明	12.00 本格稼働した施	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	拍标就坍	※令和4年7月	から本格的に民間	引事業者による管	理運営となった。			
(活動)焼却施設実稼 働率	%	100. 00 97. 06	100. 00 97. 91	100. 00 0. 00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
	指標説明	[2炉年間運転]	実績日数/2炉年	F間運転計画日数 引事業者のよる管	[] × 1 0 0 理運営となった		•	
(成果) 排ガス中の ダイオキシン類濃度基	%	100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
準値遵守率	指標説明				1 ngは 1 O 億分の			0.00
(成果) 飛灰処理物の ダイオキシン類濃度基	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
準値遵守率	指標説明	飛灰1g中のダ·				0.00	0.00	0.00
(成果) 資源ごみの処 理率	%	100.00 96.28	100. 00 99. 70	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
4	指標説明	資源ごみの処理			0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) ごみ発電による 電力使用率	%	100. 00 96. 45	100.00 96.44	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00
67K/11-	指標説明	「ごみ発電によ	る電力施設内利用	日数/暦日数]		0.00	0.00	0.00
		<u> </u>	から本行的に民間	事業者のよる官	<u> 理理者となりた。</u>			
				l	1			
							1	
					<u> </u>		1	
				T	,		T	
				1	, 			
					•		•	
ID07D0E0	1							

整理番号 0176

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1708 環境部北部クリーンセンター 所属 事務事業番号 01181 北部廃棄物最終処分場管理運営事業 所属長名 北﨑 祐慈 川村 与志治 記入者

【基本情報】							
総合計画	03 大津市総合計画 第2期実行計画						
基本方針	003 安心、快適に	[住み続けることのでき	る活力のあるます	ちを創ります			
基本政策	012 再生可能エネ	ルギーの活用とごみの)適正処理でクリ-	ーンなまちにし			
施策	032 循環型社会形	が成の推進					
取組の方向性	002 適正処理の推	進					
事務事業	022 北部廃棄物最	022 北部廃棄物最終処分場管理運営事業					
運営方法	直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象外				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃	に関する法律、下水道	法				
事業概要	込みの燃やせないごみ に処理するための適正		処分を行う。また	≿、処分場から発生	する浸出水を水処理施設で安全		
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	ことから、さらなる延 (見直しや改善等の経過 令和元年からの土堰堤	施策」の実施により、 命化が求められる。 引) 工事築造について、高 からフェニックスへの	さを変更(2.5	5 m→1. 25 m)	残余年数も短くなってきている し、ごみの埋立枠を増加させ、 Otに見直し、現処分場の延命		
【事業分析】	<u>_</u>						
対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、	破砕不燃物(破砕処理	残渣)及び持ち辺	込みの燃やせないご	みを		

【 ず 木 刀 '川 】	
対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、破砕不燃物(破砕処理残渣)及び持ち込みの燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、 ②水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような 状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、 ②放流水(処理水)の水質基準値を遵守する

【コスト】 (単位:千円)

			令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
			決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
١-	ータ	ルコスト	58, 890	69, 330	56, 176	56, 919	56, 919	56, 919	56, 919
	事	業費	37, 808	47, 136	38, 660	39, 403	39, 403	39, 403	39, 403
		国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	339	238	201	205	205	205	205
		一般財源	37, 469	46, 898	38, 459	39, 198	39, 198	39, 198	39, 198
	人化	牛費計	21, 082	22, 194	17, 516	17, 516	17, 516	17, 516	17, 516
		事務・技術(人)	1. 25	1. 21	1. 22	1. 22	1. 22	1. 22	1. 22
		技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		再任用(人)	1. 00	0. 42	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用(人)	1. 76	2. 58	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00	2. 00
		嘱託(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	そ(の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0176

令和 6年度 評価年度

進捗区分 評価完了 環境部北部クリーンセンター 1708 所属 事務事業番号 01181 北部廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】							上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)焼却灰、破砕 不燃物等の埋立量	m³	3, 000. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	1, 500. 00	3, 800. 00	3, 800. 00	3, 800. 00
不然初寺の珪立里	111	1, 490. 88	1, 414. 28	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(活動)水質検査実施 回数		12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00	12. 00
凹奴	回	12. 00	12. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
(成果)放流水の下水 道排除基準遵守率	%	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
担排除基件是可平	70	100.00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
(成果)放流水のダイ	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
オキシン類濃度基準値 遵守率	70	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 → ↓4 = ± / + ▼								

_[定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			C	あまり妥当ではない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	妥当ではない	
	評価理由	一般廃棄物を適正に処理す	「るこ。	とは、市町村の責務である。	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	C	あまり上がっていない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	上がっていない	
	評価理由	廃棄物を計画的に埋立処を	うし、カ	放流水も排出基準を満足している。	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			C	あまり効率的でない	$\boldsymbol{\vdash}$
			D	効率的でない	
	評価理由	地域の環境保全に万全を其	月しな/	がら効率的な運営管理に努めている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			C	あまり貢献していない	$\boldsymbol{\mathcal{A}}$
			Δ	貢献していない	
	評価理由	廃棄物を計画的に埋立処分	}し、 ;	ごみの適正処理に貢献している。	
	評価理由				

【所属評価結果】 総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持 廃棄物処理法に基づく維持管理基準を遵守するとともに、周辺環境に影響を及ぼすことのないよう適切な水質検 査を徹底する。現処分場の延命化を図るため、引き続き大阪湾フェニックス埋立処分地への搬入量の確保に努め る。 所属コメント (400文字) 【部局評価結果】

【印向許伽布朱】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	残容量を見据えながら土堰堤の築造を計画	i的に行い、適正かつ効率的な	処分場の運営管理を続けるとともに、公
	共下水道の排水基準を遵守できるよう、浸	出水処理施設の運転管理を行	うものとする。
部局コメント			
(400文字)			

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1708環境部北部クリーンセンター総合計画03大津市総合計画第2期実行計画事務事業番号01181北部廃棄物最終処分場管理運営事業

総合計画 03 事務事業番号 01181		ī総合計画 ፮棄物最終]実行計画 管理運営事業				上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	令和 5	年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)焼却灰、破砕 不燃物等の埋立量	m³	3, 1.	000. 00 490. 88	1, 500. 00 1, 414. 28	1, 500. 00 0. 00	1, 500. 00 0. 00	3, 800. 00 0. 00	3, 800. 00 0. 00	3, 800. 00 0. 00
	指標説明	焼却灰、	破砕不	燃物等の埋立量。 変更している。	なお令和5年度	よりフェニックス			,000 t) させ
(活動) 水質検査実施 回数	回		12. 00 12. 00	12.00 12.00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00	12. 00 0. 00
四奴	指標説明					正な水質管理を行			
(成果)放流水の下水	%		00.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
道排除基準遵守率	指標説明		00.00 流して	100.00 いる処理水の下2	0.00 K道排除基準遵守	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水のダイ	%	1	00.00	100.00		100.00	100.00	100.00	100.00
オキシン類濃度基準値 遵守率	指標説明		00.00 流して	100.00 いる処理水のダイ	<u>0.00</u> イオキシン類濃度	0.00 基準値遵守率。	0.00 基準値=10pg	0.00 /	0. 00
					<u> </u>				
					1	1			
					l .				
					l .				
					ı	<u> </u>			
			-		,	,			
					<u> </u>				
			1		Ι		1		
					r	,	-		

整理番号 0177

評価年度 令和 6年度

02622

進捗区分 評価完了 1708 環境部北部クリーンセンター 所属

美化清掃事業

所属長名 北﨑 祐慈 記入者 森本 和也

事務事業番号 【基本情報】

総合計画	00 十净士纵入社面 智	の即中に計画					
19 11	03 大津市総合計画 第2期実行計画 003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります						
基本方針				• •			
基本政策			適正処理でクリーンなま	ちにし			
施策	032 循環型社会形成の推	主 進					
取組の方向性	002 適正処理の推進						
事務事業	027 美化清掃事業						
運営方法	直営						
評価区分	対象	主な取組区分	対象外				
根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利	用の促進並びに	環境の美化に関する条例				
	(事業概要)						
	自治会や各種団体等による美	化活動に伴うご	みの収集、小・中学校、対	を所等に設置され	ている使用済廃乾電池回		
	収箱からの乾電池収集、犬・	猫等動物死体の	収集業務(委託). 刈草	空枝の堆肥化に	より生じた堆肥の市内3		
	か所の配布場所への運搬等を) X X * * E B B -			
事業概要	75 THE STATE OF LETTER OF	13 > 0					
	(事業を取りまく社会環境)						
	(争乗を取りまく社会環境) 自治会等による美化活動の実	佐に伴る理接伊。	◇舎渉の向上め 送吹上α	N動物花丛学&目	時の迅速が通報が 以 古		
				ノ刬彻処体寺先兄	时の迅速は週報はこ、印		
本サナ 取リナノな へ	内の美観保持を行うための市	氏息諏の高まり)	いめる。				
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)	4 = 3 1 1 5 # 3 # 3 F					
環境とこれまでの見直し	職員自らが主体的に担ってき						
	地域におけるごみをめぐる課	:題についてきめ	細かく対応するため、人 貞	見と 車両の配置を	行い、直宮での収集が可		
	能な体制を整えてきた。						

_【事業分析】	
対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者(動物死体に限る。)が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような 状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	ルコスト	47, 262	49, 102	48, 609	57, 139	57, 139	57, 139	57, 139
事	業費	12, 992	13, 298	14, 087	22, 617	22, 617	22, 617	22, 617
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	612	374	665	374	374	374	374
	一般財源	12, 380	12, 924	13, 422	22, 243	22, 243	22, 243	22, 243
人化	牛費計	34, 270	35, 804	34, 522	34, 522	34, 522	34, 522	34, 522
	事務・技術(人)	0. 50	0. 50	0. 38	0. 38	0. 38	0. 38	0. 38
	技能労務(人)	3. 24	3. 58	2. 54	2. 54	2. 54	2. 54	2. 54
	再任用(人)	1. 50	0. 75	1. 82	1. 82	1. 82	1.82	1. 82
	会計年度任用(人)	0. 44	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25	1. 25
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ(の他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0177

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1708 環境部北部クリーンセンター

事務事業番号 02622 美化清掃事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】								上段:目標値	下段:実績値
指標名	単	.位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動)美化活動に伴う ごみ等の直営収集量			200. 00	200. 00	200. 00	200. 00	200. 00	200.00	200. 00
この寺の直呂収未里			163. 00	176. 00	0.00	0. 00	0.00	0.00	0.00
(活動)動物死体の収集	体		1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00
数	144		973. 00	829. 00	0. 00	0. 00	0.00	0.00	0. 00
(成果)収集応需率	%		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	70		100.00	100.00	0. 00	0.00	0.00	0.00	0.00
		·							
【定性評価】				•					

	定性評価 <u>】</u>				
	評価項目	評価の観点		<u>基準</u>	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	\
1			С	あまり妥当ではない	_
			D	妥当ではない	
	評価理由	廃棄物処理法を順守し、ア	†が主	体となり事業に取り組めている	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	□ Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	収集依頼に速やかに対応す	するこ	とにより、環境保全に貢献している	
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	\neg \wedge
3			С	あまり効率的でない	\neg \boldsymbol{A}
			D	効率的でない	—
	評価理由	業務に応じて民間委託と正	直営事	業に区分けできている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	\neg \land
4			С	あまり貢献していない	\neg \boldsymbol{A}
			D	貢献していない	—
	評価理由	環境保全、市民サービスの	の両面	から貢献度の高い事業である	
	評価理由			•	

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
生活環境の美化や公衆衛生の保全の観点から、動物死体の収集依頼等については連絡を受けた当日に対応を行い
、地域住民が積極的に美化活動を行い集積されるごみの収集に対しては、できるだけ希望日に対応してきた。結果として指標に定める目標値(収集量・数)に対する実績値には達していないものの、収集応需率は100%と対応は
できている。引き続きごみの収集量や動物死体の収集数の推移や情報を分析し、市民サービスの低下がないよう
事業効果が向上する取組を模索する。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため	、引き続き、きめ細やかで迅	速な収集対応により市民サービスの充実
	と向上に努め、事業のより円滑な推進を図	っていく。また、環境整備員	の人員数と業務量を見据え、持続可能な
	取組となるよう、一部業務の外部委託化な		
部局コメント			
(400文字)			

評価年度令和 6年度進捗区分評価完了所属1708環境部北部クリーンセンター総合計画03大津市総合計画第2期実行計画

事務事業番号 02622 美化清掃事業 上段:目標値 下段:実績値

事務事業番号 02622	美化清	掃事業					上段:目標値	下段:実績値
指標名	単位	<u> </u>	<u> </u>	令和 7年度 200.00	<u>令和 8年度</u> 200.00	令和 9年度 200.00	令和10年度 200.00	令和11年度 200.00
(活動)美化活動に伴う ごみ等の直営収集量	t	163. 00	176. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	美化活動に伴う	ごみ、苦情、廃草	5電池等の直営収	集量			
(活動)動物死体の収集	1	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00	1, 200. 00
数	体	973.00	829.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	飼犬、飼猫等の·	ペット、野良犬、	野良猫等の動物	死体の収集数			
(成果)収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00 0.00	100. 00 0. 00	100. 00 0. 00	100.00
	指標説明	100.00 市民からのごみ ²	100.00 等収集零要に対す	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00
	10 134 130 31	111000 500 200	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, e, o, m —				
				ı		Į.	I.	
				Π		ı		
				<u>I</u>				
				1	T T	Ī		
				ı	1		T	
				I				
				1	1	-		
							•	
				l				
				1	1	ı		
						Į.	<u>l</u>	
				1		I	Ι	
				l .	<u> </u>			
							T	
				1		l		
TP27P050								

整理番号 0178

評価年度 令和 6年度

進捗区分 評価完了 1708 環境部北部クリーンセンター 所属 事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

所属長名 北﨑 祐慈 記入者 森本 和也

【基本情報】

【叁个侑取】						
総合計画	03 大津市総合計画 第	第2期実行計画				
基本方針	003 安心、快適に住み約	売けることのでき	うる活力のあるまちを創	ります		
基本政策	012 再生可能エネルギー	−の活用とごみの)適正処理でクリーンな	まちにし		
施策	032 循環型社会形成の排	推進				
取組の方向性	001 ごみの減量と再資源	原化の推進				
事務事業	003 資源物等適正処理事	事業				
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・施	ī行規則	•			
	市内から排出される一般廃	棄物を中間処理	施設等において資源化	等を実施することに	より、適正な処理に資す	
	るものとする。					
 事業概要						
争未恢安 						
	(事業を取りまく社会環境)					
	社会や経済の発展に伴い、生	活が豊かになり	大量生産・大量消費型	であった社会経済シ	ステムを循環型社会形成	
	推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。					
事業を取りまく社会	(見直しや改善等の経過)					
環境とこれまでの見直し	ペットボトルの水平リサイクル実証実験として、令和5年度より一部の施設において独自処理再生事業者への引					
	渡しを行った。令和7年度か		- 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			

-	-114		-	•	
二里	¥	~	ᄍ	1	

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	中間処理施設に搬入される一般廃棄物を
目的(何のために)	リサイクルを推進する循環型社会への転換を図るために
手段(どのようなやり方で)	民間事業者等への委託等により
成果(どのような 状態にするのか)	個々の廃棄物に応じた効率的で確実な処理体制が確保される。

[コスト] (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	-タルコスト	21, 609	19, 446	19, 272	19, 835	19, 835	19, 835	19, 835
	事業費	10, 279	10, 177	10, 798	11, 361	11, 361	11, 361	11, 361
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	10, 279	10, 177	10, 798	11, 361	11, 361	11, 361	11, 361
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
l [人件費計	11, 330	9, 269	8, 474	8, 474	8, 474	8, 474	8, 474
	事務・技術(人)	0. 58	0. 58	0. 47	0. 47	0. 47	0. 47	0. 47
	技能労務 (人)	0. 67	0. 33	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34	0. 34
	再任用(人)	0. 33	0. 17	0. 17	0. 17	0. 17	0. 17	0. 17
	会計年度任用(人)	0. 22	0. 42	0. 42	0. 42	0. 42	0. 42	0. 42
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0178

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1708 環境部北部クリーンセンター 事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-03-00	資源物等適正処理事業費	環境部北部クリーンセンター

7 ± = = == == 1								- 0 -44
【定量評価】							上段:目標値	
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
(活動) 再商品化引渡 数量	Kg	2, 145, 636. 00	2, 145, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00	1, 785, 636. 00
数里	ινg	2, 059, 322. 00	1, 997, 785. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)独自処理の再	V ~	344, 364. 00	344, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00	704, 364. 00
生事業者によるペット ボトル再商品化数量	Kg	320, 360. 00	336, 800. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) プラスチック 製容器包装ペットボト	%	100. 00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
製品の表ペットボト ルベール品質検査結果	90	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
【定性評価】								
評価項目		評価の観点			基準			評価
			-	U-+7	- 本年			計Ш
妥当性 実施主体又は手段は妥				A 妥当である				_
1 1		当か	B [5]	ぎ妥当である				Λ

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	A
			D	妥当ではない	•
	評価理由	各種リサイクル法を厳守し	J., −f	般廃棄物を適正に処理している	
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない	, .
	評価理由	再資源化が適正になされて	ている		
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	\boldsymbol{A}
			D	効率的でない	<i>,</i> ,
	評価理由	再商品化ルートの一部見面	直しに。	より収入の向上も図れている	
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	, .
	評価理由	リサイクルすることにより	ノ、資流	原物等の適正処理が行えている	
1					
	評価理由		•		

【所属評価結果】
総合評価
計画どおり事業を進めることが適当
事業の方向性
現状維持
本市中間処理施設等に搬入されている一般廃棄物は適正な形で処理ができている。今般各種リサイクル法の適正な運用方針の中に、3R政策の積極的な推進、家電などを含めた個別リサイクル法の適正な執行・普及啓発、プラスチック資源循環の重要性の高まりを受けたプラスチック資源循環促進法の施行にともなう、資源循環の取組推進が示されている。これをもとに、今後本市中間処理施設における資源物等の処理は、社会を取り巻く環境や(400文字)
関係法令の整備等も含め総合的に判断し、時代の流れに合致したより適正な処理を行っていく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	中間処理施設に持ち込まれる一般廃棄物は 資源化を行うことなど、環境に配慮した資		

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了 所属 1708 環境部北部クリーンセンター 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 資源物等適正処理事業 04191 上段:目標値 下段:実績値 指標名 (活動) 再商品化引渡 令和 <u>6年度</u> 令和11年度 単位 令和 5年度 令和10年度 1, 785, 636. 00 2, 145, 636, 00 2, 145, 636. 00 1, 785, 636. 00 1, 785, 636. 00 Kg 2. 059. 322. 00 1. 997, 785. 00 数量 0.00 0.00 0.00 0.00 0 00 指標説明 容器包装等廃棄物は、容器包装リサイクル法の基本方針にて適切な処理を行える者に円滑な引渡しが求められる <u>- め、同法で指定している容器包装リサイクル協会に引き渡しを行うことにより再商品化を行っている。</u> 344,364.00| 344,364.00| 704,364.00| 704,364.00| 704,364.00| (活動)独自処理の再 Kg 生事業者によるペット 320, 360. 00 336, 800. 00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 ボトル再商品化数量 指標説明 当該事業者による再商品化を行うことにより、CO2削減や当センターにおける業務効率及びリサイクル率の向上 等の効果が期待できる。 (成果) プラスチック 100 00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 100.00 製容器包装ペットボト 100.00 100.00 0 00 0 00 0 00 0.00 0 00 ルベール品質検査結果 指標説明 容器包装リサイクル協会は、プラスチック容器包装、ペットボトルについては年に1回のベール品質検査を義務 <u>づけており、その評価をA、B、Dで行っている。よってこの検査結果Aを100%の成果とする。</u>

整理番号 0179

評価年度 令和 6年度

01024

進捗区分 評価完了 環境部衛生プラント 1711

衛生処理場運転管理事業

所属長名 野口 渡 記入者 平野 晋也

事務事業番号 【基本情報】

所属

【举个用拟】										
総合計画	03 大津市総合計画	動 第2期実行計画								
基本方針	003 安心、快適に信	003 安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります								
基本政策	012 再生可能エネル	112 112 112 114 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4								
施策	032 循環型社会形成									
取組の方向性		002 適正処理の推進								
事務事業	005 衛生処理場運輸	005 衛生処理場運転管理事業								
			_							
				•						
NTT NY 1 A 1										
運営方法	民間委託	> t. T- 40 = 1)	11.5.1							
評価区分	対象	主な取組区分	対象外							
ATI Inn A. A. A.	+ ** + * * ** ** ** ** ** ** ** ** ** **									
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に	:関する法律								
	(事業概要)									
	市内で発生するし旅と浄	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。								
事業概要										
	下水道の並及に伴い 古	内で発生する 屋路	バ海ル横汗泥の		のの、生活排水処理基本計画					
					生量が減少していない状況に					
					ればならない。このことから					
事業を取りまく社会					未然に防ぐ予防整備を計画的					
環境とこれまでの見直し	に行うこととした。	21及牙明1516日日	E CREU, IS		小窓に防くすめ歪曲を可画 の					
球視とこれはその光色と	1211 / 22 2 2 /2.									
【事業分析】										
対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄	+化槽汚泥を								
7 3 2 4 1 7 4 1 5 1 Hz C /										
	1									

【ず木刀勿】	
対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント(し尿処理施設)で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような 状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持が確保できている。

コスト】 (単位:千円)

		令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
	-タルコスト	221, 429	211, 419	242, 176	243, 749	243, 749	243, 749	243, 749
	事業費	206, 913	195, 719	226, 476	228, 049	228, 049	228, 049	228, 049
	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	206, 913	195, 719	226, 476	228, 049	228, 049	228, 049	228, 049
l [人件費計	14, 516	15, 700	,	15, 700	15, 700	15, 700	15, 700
	事務・技術(人)	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50	1. 50
	技能労務 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	会計年度任用(人)	0. 88	1. 00	1.00	1.00	1.00	1.00	1. 00
	嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0

整理番号 0179

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1711 環境部衛生プラント 事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント

【定量評価】					上段:目標値	下段:実績値				
指標名	単位	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度		
(活動)し尿・浄化槽汚 泥搬入量(1日当り)	L	28. 87	27. 47	26. 10	24. 75	23. 45	22. 16	20. 91		
ル版八里(「ロヨッ)	k I / 目	30. 39	30. 31	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00		
(活動)汚泥焼却灰処分	t /年	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00	15. 00		
里	t / #	9. 95	8. 45	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00		
(成果)放流水の水質 (BOD) (管理目標値	0/	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00		
以下の達成度)	%	100.00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0. 00	0.00		
(成果)放流水の水質(0.4	100.00	100. 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00		
T - N) (管理目標値 以下の達成度)	%	100. 00	100. 00	0.00	0.00	0.00	0.00	0. 00		
F 1/1 1 3										

	定性評価】				
	評価項目	評価の観点		基準	評価
	妥当性	実施主体又は手段は妥	Α	妥当である	_
		当か	В	ほぼ妥当である	Λ
1			С	あまり妥当ではない	\boldsymbol{A}
			D	妥当ではない	<i>,</i> .
	評価理由	市町村の責務であるため	-		
	有効性	事業分析の「成果」欄	Α	上がっている	_
		に記載の成果は上がっ	В	やや上がっている	Λ
2		ているか	С	あまり上がっていない	\boldsymbol{A}
			D	上がっていない	<i>,</i> ,
	評価理由	環境負荷の低減に寄与した			
	効率性	事業手法は効率的であ	Α	効率的である	_
		るか	В	やや効率的である	Λ
3			С	あまり効率的でない	A
			D	効率的でない	<i>,</i> .
	評価理由	運転管理等を委託にて実施			
	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献	Α	貢献している	_
		しているか	В	やや貢献している	Λ
4			С	あまり貢献していない	\boldsymbol{A}
			D	貢献していない	<i>,</i> .
	評価理由	生活環境の保全と公衆衛生	Eの向.	上維持に貢献した	
1					
	評価理由		-		

【所属評価結果】
総合評価 計画どおり事業を進めることが適当 事業の方向性 現状維持
大津市全体のし尿及び浄化槽汚泥の発生量は減少傾向にあるものの、見込みを超えて依然高止まりしている。また、南部衛生プラントの廃止に伴い、志賀及び北部衛生プラントのし尿等の処理量は増加しており、施設の重要度は増している。このことから、施設の維持管理を適切に行うため、令和4年度に策定した大津市衛生プラント
長寿命化総合計画を確実に実行するとともに、今後も引き続き運転管理を適切に行うことにより、安全かつ安定
した運転、処理を可能とするよう取り組んでいく。

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設からの放流水の水質は自ら設一方で、市内のし尿・浄化槽汚泥の発生量き続き、現有のし尿処理施設の操業が欠かついては、施設の老朽化が進んでいること、し尿処理をめぐる生活環境の保全と公衆	は減少基調にあるものの、搬せないことは明らかである。 を踏まえ、令和4年度に策定し	入量の水準は目標値を上回っており、引

評価年度 令和 6年度 進捗区分 評価完了

所属 1711 環境部衛生プラント

総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画

事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業 上段:目標値 下段:実績値

异地名		A	A A	^	^- ^-	A A	上段:目標値	下段:実績値
指標名 (活動) し尿・浄化槽汚	単位	<u> </u>	<u>令和 6年度</u> 27.47	<u>令和 7年度</u> 26.10	<u>令和 8年度</u> 24.75	令和 9年度 23.45	令和10年度 22.16	<u>令和11年度</u> 20.91
尼搬入量(1日当り)	k I /日	30. 39	30. 31	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
	指標説明	志賀及び北部衛生	生プラントのし原	マ・浄化槽汚泥搬	入量			
活動) 汚泥焼却灰処分	t /年	15. 00 9. 95	15. 00 8. 45	15.00	15.00	15.00	15. 00 0. 00	15. 00
<u>a</u> <u>a</u>	指標説明		<u>8.45</u> トから発生する [;]	0.00 記焼却灰の処分	0.00 量	0.00	0.00	0. 00
成果) 放流水の水質 (100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
30D)(管理目標値	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人下の達成度)	指標説明	生物化学的酸素	要求量10mg/	√Ⅰ以下に処理				
成果)放流水の水質 (%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
「一N)(管理目標値 以下の達成度)	指標説明	100.00 総窒素量 1.0 m	100.00 g/Ⅰ以下に処理	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		柳立工水里:	87 17711-721					
					I	I	T	
							<u> </u>	
						1		
_	+							
							<u> </u>	
	1	1			T	ı	T	
				<u> </u>				
	1	1				ı	Т	
					-	-		